



# 地域インターンシップ

2025



本事業は、駿河台大学同窓会より、在学生のキャリア育成支援及び大学に対する援助を目的とすご寄附をいただき、全学部共通の授業科目『同窓会寄附講座「地域インターンシップ」』として実施運営しております。

# 地域インターンシップ'25

## 【目次】

ご挨拶 .....	1
学 長 大森 一宏	
1. 地域インターンシップの意義 .....	2
地域連携センター長 副学長 城井 光広	
2. 地域インターンシップの概要 .....	3
3. 地域インターンシップ受け入れ .....	5
4. 2025年度受け入れ受諾先一覧 .....	6
5. 諸手続き .....	7
6. 送付書類様式 .....	7
7. インターンシップ実習をふりかえって .....	15
8. 地域インターンシップ報告会 .....	45
9. 企業・団体が求める人物像（社会人インタビューの実践） .....	47
10. 駿大社会人基礎力による効果測定 .....	50
インターンシップ実習風景 .....	巻末

## ご挨拶

駿河台大学学長  
大森 一宏

現在、世界の急激な変化や急速な少子化などを含む社会的、経済的なさまざまな変化をふまえて、大学には、あらためてその教育のあり方について検討することが求められています。その場合、高等教育を通じて育てる人材像を議論した上で、各大学の特色、強み、ミッションなどを明確にしていくことが必要となります。すでに本学は、そのミッションの一つに地域の中核的人材の育成を掲げており、地域のさまざまな課題の解決に寄与する多面的な能力を有するジェネラリストの養成を重要な教育目標としています。

そのため本学では、そうした多面的な能力を「駿大社会人基礎力」と称し、「考える力」、「行動に移す力」、「協働する力」などから成るその「社会人基礎力」の涵養に、全ての授業で取り組んできました。とりわけ、本学の教育の特色は、この「駿大社会人基礎力」を養成するために、「地域の教育力」を活かして、実践的なプログラムを学生に提供してきたことにあります。地域と大学が協力し、「まちを教室に、地域の人々を先生に」を合言葉に、あくまで教育の一環として展開するこの「地域インターンシップ」は、本学の教育方針を体現する代表的な授業の一つであると考えています。

また、このインターンシップは、本学の同窓会の寄付講座であるとともに、事前研修、実習、事後研修などの場において、本学卒業生から多大なるご協力を仰いでいることにも特徴があります。本学の開設は1987年になりますが、それ以来活躍している卒業生たちの厚みが増し、現在では、卒業生たちが本学の地域社会に根ざした教育を支える柱の一つとなっていることを、ほんとうにうれしく、また誇りに思っています。

今年度におきましても、インターンシップ実習生を受け入れていただいた地域の企業・自治体等の皆様には、学生の個性に即した丁寧なご指導により、その成長を支援していただきました。おかげさまで学生たちは、仕事の現場において、多くの貴重な経験とさまざまな場数をふむことができました。この報告書を手にもされる皆様におかれましては、地域と大学が一体となって行う本学のユニークなインターンシップを通じて、学生たちが成長し、一段と逞しくなった姿を感じ取っていただければと存じます。

昨今、ChatGPTのような生成AIの普及が教育に与える影響についての議論がさかんに行われており、大学における教育も、こうした新技術の導入にともなう変化に対応し、時代を先取りする内容に進化させていく必要があります。とはいえ、新しい技術を人間の幸福のために使いこなすクリエイティブな判断力や高い倫理観を培い、専門分野の知識を深めることは、いつの時代にも変わることのない大学教育の課題です。本学は、引き続き建学の精神である「愛情教育」の実践を念頭に、「地域に根ざした大学」として教育の質の向上に努めてまいります。

最後になりましたが、あらためまして、たいへんお忙しい中、本学学生をこころよく受け入れていただきました企業・自治体・団体の皆様にご心よりお礼を申し上げますとともに、今後とも本学の地域インターンシップの取組に変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 地域インターンシップの意義

地域連携センター長  
副学長 城井 光広

現在、社会は大きな変革期にあり、AI やビッグデータの活用により、仕事は自動化・再編が進み、新しい職業も生まれています。こうした変化の中で、将来のキャリアを見通すことはより難しくなっています。また、人手不足により採用時期が早まり、準備不足のまま就職へ進む学生も増え、入社後のミスマッチや早期離職が課題となっています。

インターンシップは、この課題に対する有効な手段です。職場での実体験を通じ、社会に求められる姿勢や必要な知識を理解し、自分の適性を確かめることのできる機会です。しかし、近年増加している短期型インターンシップとは異なり、本来のインターンシップには、学修的価値を十分に得ることのできる教育的枠組みが不可欠であると考えています。

本学が2003年より継続して実施している「地域インターンシップ」は、地域の企業・団体のご協力のもと、学生が現場で学び、課題に向き合い、成長につなげることを重視したプログラムです。事前・事後指導を含む教育として体系的に行う点が特徴であり、短期型が主流となる現状において、大学本来のインターンシップの姿を示すモデルケースであると考えています。

今年で23年目を迎え、今年度も30名近い学生が参加しました。本冊子では、学生がどのような気づきを得て成長したのか、そのプロセスをご覧いただけますと幸いです。

この取り組みが継続できているのは、趣旨に賛同し受入先をご紹介くださった飯能信用金庫、学生を受け入れてくださった企業・団体の皆様、そしてご支援くださった駿河台大学同窓会をはじめとする関係者の皆様のおかげです。ここに深く感謝申し上げますとともに、今後とも「地域インターンシップ」への変わらぬご支援をお願い申し上げます。本学の地域インターンシップは、こうした実体験を通して「考える力」「行動に移す力」「協働する力」から成る駿大社会人基礎力を実践的に養う教育プログラムであると考えています。

## 2. 地域インターンシップの概要

### (1) 目的

- ①高い職業意識の育成—就業体験を積むことにより学生が自己の職業適性や将来設計を考える機会を得、主体的な職業選択や高い職業意識の育成を図る。
- ②自立心・責任感のある人材の育成—就業体験を積み、自分を現実の社会との関係の中に位置づけ、専門分野における高度な知識・技術にふれながら実務能力を高めることは自立的に考え行動できる人材の育成につながる。
- ③専門能力・技能に対する学習意欲の向上を図る。
- ④大学における教育内容・方法の改善・充実—実社会・産業界が求める人材像を大学側に伝えることにより産学が連携して人材を育成することが可能となる。

### (2) プロセス

#### ①学生の参加申込（4月）

地域インターンシップは、「地域インターンシップ/インターンシップ I」という授業として実施されるため、他の授業同様、履修登録をしなければなりません。これが、参加の申込みとなります。

- #### ②事前研修（4月～7月）：企業・団体で活躍されている方々を特別講師に迎え、実体験に基づいた講義を行っていただくことを通じて、「働くことの意義」、「働く上での心構え」などを考える機会を提供する。

- #### ③インターンシップ実習（8月～9月）：各企業・団体で約2週間の就業実習を行う。実習期間中は、**実習日誌**をつけることで、日々の実習内容を自己確認する。この実習日誌は、実習終了後に提出させる。

- #### ④事後研修（9月～10月）：就業体験についてレポートを提出させる（9月末）。また、発表についての指導、リハーサルを行った上で、公開の**報告会**（10月）において、自らの就業体験についての報告発表を行う。これにより、実習での学びをより確かなものとするとともに、プレゼンテーション能力の伸長を図る。

### (3) 2025年度実績

- ①科目名：地域インターンシップ/インターンシップ I
- ②実習学生：法・経済経営・メディア情報・スポーツ科学部の2～3年次生
- ③実習人数：28名
- ④実習期間：約1～2週間
- ⑤報酬等：無給、交通費・昼食代は学生自弁

⑥スケジュール等

(担当者) 法学部：松平 光徳 経済経営学部：石川 清貴 メディア情報学部：青野 正太  
 スポーツ科学部：小林 奈穂美 心理学部：佐古 年穂

回	月 日	内 容	担当者
第1回	4月17日	授業内容ガイダンス あいさつの指導	新井 克明同窓会長 担当者全員
第2回	4月24日	働くことの意味 「駿大社会人基礎力」の調査(第1回)	(株)ジャクパ 長内 郁憲
第3回	5月8日	公務員の仕事	飯能市役所 市川 晋
第4回	5月15日	「正しい姿勢・笑顔」講習+α	ヨガ・顔ヨガインストラクター 橋本 明日香
第5回	5月22日	企業の立場から	(株)F-Links 佐藤 勇氣
第6回	5月29日	相談会(実習先・就職・その他)	担当者全員
第7回	6月5日	実習先オリエンテーション (実習先の調整・決定)	担当者全員
第8回	6月12日	エントリーシート・面接について	担当者全員
第9回	6月19日	マナー講座 (あいさつ・名刺・電話など)	キャリアセンター 石橋 英理講師
第10回	6月26日	「地域インターンシップ」を履修した学生の 体験談	内定を得た4年次生 司会：小林 奈穂美
第11回	7月3日	お金について・コミュニケーションについて	リンクプライズ 寺澤 真奈美
第12回	7月17日	事前注意 「報告書・報告会グループ」リスト等の配布	担当者全員
8月～9月12日		インターンシップ実習	
	9月	報告書の提出、添削、清書 「実習先研究シート」の提出	
第13回	9月18日	プレゼンテーションの心構え	担当者全員
第14回	9月25日	リハーサル 報告会スケジュール表(最終版)の配布	担当者全員
第15回	10月9日	報告会 実習日誌の提出、授業アンケート、 「駿大社会人基礎力」の調査(第2回)	実習先企業・団体 学長・同窓会長 担当者全員

(4) 保険の加入

①本学学生は全員が公益財団法人日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険」  
 「学研災付帯賠償責任保険」に加入しているため、正課であるインターンシップの授業  
 中及び実習中の災害については同保険約款の範囲内で保険金が支払われる。

②賠償責任保険の内容は下記のとおりです。

保 障 内 容	賠償責任：対人賠償と対物賠償合わせて1事故につき1億円限度 災害傷害：死亡保険金2,000万円限度 後遺傷害保険金120万円*～3,000万円限度 *入学年度により金額が異なる
保 険 期 間	加入(入学時)から大学卒業予定年次まで

### 3. 地域インターンシップ受け入れ

#### (1) 受け入れのメリット

受け入れをお引き受けいただきますと、いろいろご負担をおかけすることになるかと思えます。しかし、日本の未来は、若者の手に委ねられております。これから輝かしい経済社会をつくりあげていく若者を社会全体で育てていくという趣旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

また、インターンシップを受け入れていただいた企業・自治体からは、次のようなメリットがあったと報告を受けております。

- ①「学生の指導に当たる社員・職員が、仕事を系統だって教えることを通して、自分たちの普段の仕事をチェックすることに繋がる。仕事を振り返る、より深く理解するきっかけとなる。」インターンシップでの指導が業務改善、業務革新の端緒を開くことも稀ではありません。「教えること」は「学ぶこと」に繋がります。
- ②学生が目で感じた意見を聞くことによって、職員・社員の意識改革に繋がる。また、本学の学生総数は約4千名であり、若者市場として、また若者対象製品の市場調査の対象として、格好の素材を提供しています。「消費者ニーズを探る課題」を企業が学生に提供し、その調査課題を学生がこなす形での、インターンシップも可能です。

#### (2) 受け入れの際のお願い

インターンシップを受け入れていただく際に、次の点にご配慮いただければ幸甚です。インターンシップ参加学生に与える課業(仕事)は、以下の点を考慮していただき、受け入れ側の実情に応じてお決めいただいて結構です。

- ① 期間が短期であること
- ② 学生は現金報酬を目的としないこと
- ③ 学生が将来、職業選択する際に有用な職業観、仕事意識を涵養できること

基本的には、補助的、アシスタント的な仕事を中心になるかと思えます。例えば、学生は、文書作成、表計算の基礎を修得していますので、当該能力を活用した集計作業等は容易にできると思えます。

その際、作業それ自体の指示に加え、当該作業が企業、官庁等の組織全体の仕事の中で占める役割を事前、事後にご教示いただければ幸いです。全体の仕事の流れのなかで、学生が担う仕事の位置をお教えいただくこととなります。さらには、そのような仕事を覚えた後に課される仕事の種類、内容そしてそのような仕事をこなすのに必要とされる技能とその修得方法についてもお教えいただきたくお願いいたします。そうすれば、学生は一つの仕事から組織全体を見通すことができ、たとえ単純作業ではあってもモチベーションは上がるかと思えます。

あるいは、消費者、利用者の一員として若い世代の学生のセンス、感覚を問うような仕事を課することもできます。消費者ニーズの調査、企画立案等の課題を学生に与え、回答を求めることが、その一例です。課題の内容如何では、教員からアドバイスをを行い、回答の質を高めることもできます。

#### 4. 2025年度受け入れ受諾先一覧（○は2025年度実習実施先）

（自治体関係）

団体名	実習	人数
入間市役所	○	1
狭山市役所		0
飯能市役所	○	4
日高市役所	○	1
東久留米市役所	○	4
計		10

（企業等）（五十音順）

地区名	企業名	実習	人数
入間郡	JGM おごせゴルフクラブ		0
入間郡	三光産業(株)		0
入間市	社会福祉法人杏樹会		0
入間市	(株)いわさき		0
入間市	社会福祉法人永仁会		0
入間市	カネパッケージ(株)		0
入間市	社会福祉法人茶の花福祉会		0
入間市	ツインスターテクノロジー(株)		0
入間市	司産業(株)		0
入間市	(株)テラダイ		0
入間市	社会福祉法人羽搏会		0
入間市	(株)間野製作所		0
入間市	(株)武蔵臨床検査所		0
入間市	吉岡製油(有)		0
川越市	(株)アジアホールディングス		0
川越市	岩堀建設工業(株)		0
川越市	川木建設(株)		0
川越市	小林税理士事務所		0
川越市	埼玉ライナー(株)		0
川越市	三光建設(株)		0
川越市	昭和工業(株)		0
川越市	(有)立ち華葬祭		0
川越市	東亜冷熱(株)	○	1
川越市	(株)長谷川製作所		0
川越市	(株)ホンダプロモーション		0
川越市	(株)ヤオコー		0
さいたま市	(株)マミーマート		0
坂戸市	協和建設工事(株)		0
坂戸市	啓装工業(株)		0
狭山市	(株)小見山商事		0
狭山市	(株)スズキトラスト	○	1
狭山市	社会福祉法人靖和会特別養護老人ホームつつじの園		0
狭山市	花丸家(株)		0
狭山市	(株)ホンダカーズ埼玉西	○	2
狭山市	(株)ミツギ		0
秩父郡	(株)ENgawa		0
所沢市	ウチノ看板(株)		0
所沢市	(株)エステート白馬		0
所沢市	(株)カマタ		0

所沢市	燦クリーン(株)	○	1
所沢市	昭和建設興業(株)		0
所沢市	(株)大黒屋		0
所沢市	長沼商事(株)		0
所沢市	本橋環境計画(株)		0
所沢市	社会福祉法人陽明福祉会陽明保育園		0
新座市	(株)増木		0
新座市	増木工業(株)		0
新座市	(株)増木工務店		0
新座市	(株)増木ホールディングス		0
飯能市	雨間造園土木(株)		0
飯能市	(株)ヴェルペンファルマ		0
飯能市	(株)加藤建設工業		0
飯能市	(株)金子組		0
飯能市	Fun Space(株) さわらびの湯		0
飯能市	西武ガス(株)		0
飯能市	鳥居観光(株)		0
飯能市	NPO 法人名栗カヌー工房		0
飯能市	埼玉県立名栗げんきプラザ		0
飯能市	(株)ニッター冷熱製作所		0
飯能市	NPO 法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		0
飯能市	NPO 法人飯能市スポーツ協会	○	1
飯能市	飯能信用金庫	○	3
飯能市	Fun Space(株)（ノーラ名栗）	○	1
飯能市	飯能精密工業(株)		0
飯能市	細田建設(株)		0
飯能市	(株)ムーミン物語		0
東松山市	グランディール税理士法人	○	1
東松山市	千葉賀津子税理士事務所		0
比企郡	(株)ダスキンくりはら		0
比企郡	(株)ワイエム紙販		0
日高市	(株)伊藤木材建設		0
日高市	(有)ピーシーリンク	○	1
日高市	日高都市ガス(株)		0
ふじみ野市	(株)埼玉金周		0
ふじみ野市	レジアスインプクト(株)		0
北区	(株)サンエー印刷	○	2
品川区	幼児活動研究会・コスモスポーツクラブ	○	2
千代田区	(株)共立メンテナンス		0
練馬区	東明興業(株)		0
立川市	(株)ミート・コンパニオン		0
東大和市	(株)タカキ		0
群馬県利根郡	奥利根温泉ホテルサンバード	○	2
計			18

## 5. 諸手続き

### (1) 受け入れ依頼【3～4月】

依頼文書「インターンシップ実習生の受け入れについて（ご依頼）」を受け入れ先代表者宛にお送りいたします。受け入れていただける場合は、グーグルフォームまたは同封の「受入承諾書」（様式1）にご記入の上ご返送願います。

### (2) 実習生の確定【7月上旬】

受け入れ受諾先からご回答いただいた「受入承諾」の内容を事前研修の中で学生に周知し、派遣学生を決定します。

なお、派遣学生は、公益財団法人日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険」「賠償責任保険」に加入しております。

### (3) 誓約書の送付と協定書（覚書）の締結【7月中旬】

受け入れ先に対し、学生が提出した「実習生身上書」（様式3）、「誓約書」（様式4）をお送りいたします。

さらに、本学学長名で作成した「インターンシップに関する覚書（協定書）」（様式2）を2通お送りいたしますので、捺印の上1通を本学にご返送願います。

### (4) 実習【8月～9月中旬】

実習は原則として学生の夏休み期間にお願いいたします。実習期間中には学生にインターンシップ実習日誌（様式5）（冊子になっています）を毎日提出させますのでご確認・ご指導いただければ幸いです。

### (5) 連絡先

駿河台大学 地域連携課

〒357 - 8555 埼玉県飯能市阿須 698

Tel. 042-972-1181 Fax. 042-972-7767 E-mail : tiiki@surugadai.ac.jp

## 6. 送付書類様式

(様式1) 「受入承諾書」

(様式2) 「インターンシップに関する覚書（協定書）」「覚書別紙」

(様式3) 「実習生身上書」

(様式4) 「誓約書」

(様式5) 「インターンシップ実習日誌（抜粋）」



## インターンシップに関する覚書

《企業・団体名》(以下「甲」という。)と駿河台大学(以下「乙」という。)は、駿河台大学インターンシップの実施に関し、下記のとおり覚書を締結する。

### 記

#### 1 インターンシップ実習生の受け入れ

甲は乙のインターンシップ実施要領及び依頼に基づき、乙の学生をインターンシップ実習生(以下「実習生」という。)として受け入れる。

#### 2 実習条件等

(1) 実習内容 インターンシップの趣旨を踏まえ、甲により決定する。

(2) 賃 金 無給とする。

(3) 交通費等 乙又は実習生の負担とする。ただし、特別な事情がある場合には、協議のうえ、別に決定する。

(4) 勤務規律 原則として甲の勤務関係規定に従うこととする。

#### 3 実習生の災害等

実習中又は通勤途上の災害については、乙又は実習生において処理することとし、甲は一切の責任を負わない。

#### 4 守秘義務

実習生は実習中に知り得た秘密や個人情報を一切他人に漏洩してはならない。

#### 5 実習の中止

甲は、甲又は実習生の事情により実習の継続が困難と判断する場合は、乙と協議のうえ実習を中止することができる。

#### 6 協議

この覚書に定めのない事項及びこの覚書に関して生じた疑義については、その都度甲、乙協議して定めるものとする。

上記を証するため、本書2通を作成し甲、乙それぞれ1通を所持することとする。

年 月 日

所在地  
甲 受入先  
代表者名

印

所在地 埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地  
乙 大学名 駿河台大学  
代表者名 学長 大森 一 宏

(様式2)

## 覚書別紙 (大学へ提出)

実 習 生 氏 名	《学籍番号》 《学生氏名》 (《フリガナ》)		
実 習 期 間 及 び 休 日		休日 :	
実 習 時 間			
実 習 場 所			
実 習 内 容			
備 考			
加 入 保 険	災 害 傷 害	保 険 加 入 団 体	公益財団法人 日本国際教育支援協会
		保 険 期 間	加入 (入学時) から大学卒業予定年次まで
		補 償 金 額	死亡保険金 : 2,000万円限度 後遺傷害保険金: 120万円*~3,000万円限度 *入学年度により金額が異なる
	賠 償 責 任	保 険 加 入 団 体	公益財団法人 日本国際教育支援協会
		保 険 期 間	加入 (入学時) から大学卒業予定年次まで
		補 償 金 額	対人賠償・対物賠償 : 合わせて1事故につき1億円限度
そ の 他			

《企業・団体名》(No.)

## 駿河台大学実習生身上書

年 月 日 現在

フリガナ				
氏名		性別	男・女	写真貼付欄 (縦4cm×横3cm) ※スーツ姿かつ黒髪で撮影した写真を貼付ける
生年月日	年 月 日 (満 才)			
所属	学部	学科	年	学籍番号
出身校	都・道 立		府・県	高等学校 年卒業
	高等学校卒業程度認定試験			年合格
現住所	〒 TEL① (携帯) ( ) TEL② (自宅) ( ) メールアドレス:			
帰省地	〒 TEL ( )			
インターンシップ実習を希望する理由	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>			
通勤手段 (経路)・ 所要時間	約 時間 分			

駿河台大学 地域連携課  
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須 698TEL 042-972-1181

## 誓 約 書

年 月 日

私は、駿河台大学が開講するインターンシップ科目の履修に伴う《実習先》が実施する実習への参加に当たり、下記の事項を厳守することを誓います。

### 記

- 1 実習期間中は、駿河台大学の指導要領及び指導を遵守し、《実習先》の指示に従う。
- 2 実習に際しては、次の事項を遵守する。
  - (1) 《実習先》の名誉を毀損するような言動は行わない。
  - (2) 《実習先》の営む事業を阻害するような言動は行わない。
  - (3) 実習上知り得た《実習先》の機密に属するものは、一切漏洩しない。
- 3 故意または過失により、《実習先》に損害を与えた場合は、直ちに弁償する。
- 4 実習中の《実習先》の責に帰さない事故、災害については、《実習先》に迷惑をかけることなく自己の責任において処理する。

以上、誓約します。

大学名	駿河台大学
学部名	《所属学科》
学籍番号	《学籍番号》
学生氏名	《学生氏名》 ㊞

《実習先》(No.)





## 7. インターンシップ実習をふりかえって

### 入間市

入間市役所…………… 17  
野澤 湧弥

### 川越市

東亜冷熱(株)…………… 18  
木村 勇斗

### 狭山市

(株)スズキトラスト…………… 19  
景山 靖人

(株)ホンダカーズ埼玉西…………… 20  
川村 康太、小海 心優

### 所沢市

燦クリーン(株)…………… 22  
中川西 優紀

### 飯能市

飯能市役所…………… 23  
山下 拓海、山村 祐輝、長田 将耶  
市川 大地

NPO 法人飯能市スポーツ協会…………… 27  
近下 美奈

飯能信用金庫…………… 28  
鈴木 琴哉、石川 達也、三浦 旭登

Fun Space(株) ノーラ名栗…………… 31  
佐藤 尚久

### 東松山市

グランディール税理士法人…………… 32  
奥田 悠真

### 日高市

日高市役所…………… 33  
森江 真有

(有)ピーシーリンク…………… 34  
山後 蒼一

### 東京都

(株)サンエー印刷…………… 35  
田村 眞輝、長嶺 里沙

幼児活動研究会(株)…………… 37  
相田 将吾、高木 悠翔

東久留米市役所…………… 39  
磯山 達也、野崎 美羽、森谷 佑海  
小田切 彩音

### 栃木県

奥利根温泉ホテルサンバード…………… 43  
小池 聡太、安永 葉

※地域は、受入企業・団体の代表住所で分類  
(実習地と異なる場合もある。)

※地域、地域内の企業・団体は五十音順

※学生名は学部・学年の五十音順

野澤 湧弥  
(経済経営学部)

#### 【入間市役所】

入間市役所は、市民の福祉や子育て支援の充実を図っており、今後も新たな政策に取り組もうとしています。また、SDGs 未来都市として、脱炭素や環境保護にも積極的に取り組んでいます。

【実習期間：8月4日～8日】

### 入間市役所での実習を通して

5日間のインターンシップ実習を通して、市役所職員の業務内容や入間市の抱える課題、自分自身の弱みなどを学ぶことができました。

初めの3日間はオリエンテーションと各課での実習を行い、最後の2日間は市長へのプレゼン準備、そして発表を行いました。特に印象に残ったのは、最初の2日間と、最終日の市長へのプレゼンテーションです。

初日の午前中に行ったオリエンテーションで、最初の自己紹介に、さっそく失敗してしまいました。元々人前で話すことが苦手な私は、やはり今回も緊張してしまい、早口になって、何度も噛んでしまいました。人前に立つことにプレッシャーを感じやすいという自分の弱みを再認識した次第です。

そこで、最終日の市長へのプレゼンで失敗しないよう、事前にしっかり準備することを心掛けました。グループのメンバーとリハーサルを何度も行い、不要な部分を削除したり大事に思う点を強調するようしたりと、話し合いを通じて、プレゼンをより良いものにするように努めました。また、相槌などのリアクションをしっかりとすることで、次第に円滑なコミュニケーションをとることができるようになり、少しずつ自信がわいてきました。その結果、当日は、緊張はしたものの、ハキハキと話し、アイコンタクトを積極的に取ることができました。そして、職員の方からもお褒めの言葉をいただきました。これは、事前の練習のお陰であり、事前準備の重要性を再認識できました。また、プレッシャーを感じやすいという自分の弱みを一部克服できたと感じています。

2日目のエコ・クリーン政策課の実習では、入間市がSDGsに向けて行っている業務やサービスを学びました。EV車シェアリングの導入やスポビーというアプリとのコラボなど、初めて知ることが多くありました。また、公式SNSの原稿づくりにも挑戦させていただきました。これは、使用したエネルギー量の入力をお願いして市のCO<sub>2</sub>総排出量を把握しようとする「みんなの算定」への参加をお願いするものでした。市はこのような業務も担っているのだと驚きました。このように、市民のために、日々新しい事業に挑戦する職員の姿に、大いに感銘を受けました。また、指定された文字量で広告することの難しさを知りました。

今回の実習では、他の実習生や職員の皆様、市長、そして、市民の方々とコミュニケーションをとる機会が沢山あり、多くの刺激を受けました。業務以外にも非常に学ぶことが多く、5日間という短い期間ではございましたが、私にとって貴重な経験となりました。最後になりましたが、入間市役所の皆様、ご指導、ありがとうございました。

木村 勇斗  
(経済経営学部)

#### 【東亜冷熱株式会社】

東亜冷熱は、法人向けの空調工事を手掛ける会社で、主に、工事部、施工管理部、保守メンテナンス部に分かれています。それぞれの部が現場に行き、高水準のエアコン工事を行っています。

【実習期間：9月1日～5日】

### 失敗を恐れず挑む姿勢から学んだこと

私は、東亜冷熱株式会社で、5日間のインターンシップ実習を行わせていただき、自分なりの努力と成長を感じることができました。

初日は、室内機と室外機を結ぶ壁の穴に挿入される筒であるスリーブの取り付けや塩ビ管のカットなどの現場作業を体験し、図面で見えていたものが実際に形になっていく工程を肌で感じるすることができました。慣れない作業に苦戦しましたが、ここで、「正確さと安全性を両立させる大切さ」を学び、作業一つひとつの意味を考えながら取り組む姿勢が身についたと思います。

2日目は、1日目の現場の図面を、CADを使って作成するという体験をさせていただきました。CADを使ったことがなく、最初は右も左もわからないまま、担当の方のまねをしていくのが精一杯でした。しかし、担当の方から覚えがいいからこの調子でやろうと言っていたので、自発的に考え実行していくうちに、少しずつではありますが、自力でできるようになりました。ここから、自発的に考え行動することの大切さを学びました。

3日目は、工事部の作業を体験させていただきました。工事は集合する室外機を移動するというもので、私は、エアコン用のガスが通る配管の曲げ作業や、管の一方をラップ状にしてから二つの管を接続するフレア加工など、とても貴重な作業を体験させていただきました。この作業を失敗するとガス漏れの原因になる仕事ですが、職人の方々は迅速にそれでいて丁寧にこなしていらっしゃいました。その姿を見て、私もこうなれたらと思いました。またこの日は、外ということもあり、大変高温の中での作業でしたが、誰一人ダウンせず仕事をされていました、よく体調管理も仕事のうちと言われますが、まさにその通りで、絶対無理をせず、適宜休むことで、より良い仕事環境ができるのだと学びました。

4日目・5日目は、本社で、CADを使っての図面作成の続きをやりました。4日目は2回目のCADでしたが、2日目の課題や反省点を振り返りながらやれていたのも、主観ではありますが、成長できているなと感じ取れる1日でした。5日目は、2日間やってきたCADの総復習をしました。やっていく中でわからないところなどを積極的に尋ね、失敗しながらも挑戦し続けました。ここで学んだことは、「失敗を恐れず挑戦する姿勢」と「改善を積み重ねる努力」です。これらの大切さを学ばせていただきました。

この実習で学んだことを、必ず就職活動など将来に活かしていくようにします。

最後になりましたが、今回のインターンシップで数々の貴重な体験をさせていただいた東亜冷熱様には感謝の気持ちでいっぱいです。短い間でしたが、ありがとうございました。

景山 靖人  
(法学部)

【株式会社スズキトラスト スズキアリーナ狭山富士見】

株式会社スズキトラストは、スズキ車を中心とした新車・中古車販売、車検・整備・钣金塗装、保険相談、外食事業を行っている企業です。社員一人ひとりが向上心を持ち、地域社会へ貢献することを大切にしています。

【実習期間：8月22・23日、25日、27・28日】

### クルマは“信頼”でできている

私は、株式会社スズキトラスト スズキアリーナ狭山富士見で、5日間のインターンシップ実習を行わせていただきました。主に営業の仕事を体験させていただきましたが、私たちが自動車に乗り続けられる裏には、様々な信頼関係があることを学びました。

ご契約いただいた自動車をお客様へお渡しするまでの間には、多くの業務があり、お客様から手続きに必要な書類を回収したり、工場から届いた車両の洗車・清掃をしたりしなければなりません。特に、洗車・清掃は、お客様に快く自動車をご利用いただく上で欠かせないものですが、その車両への第一印象を決めてしまうことにも繋がります。自動車のボディを傷つけないよう事前に腕時計を外し、作業中には、スーツのベルトやボタンが当たらないよう細心の注意を払わなければなりません。また、ドアの内側やフロアマットの下など、あまり目につかないような部分まで、徹底して洗車・清掃を行う必要があります。

さらに、営業の仕事は納車が済んだら終わりではないということを、実習中、店長に教えていただきました。

自動車を利用し続けるには、車検や法定整備を行わなくてはなりません。それらの期日が近づいたお客様には、電話でご案内するなど、自動車をご契約いただいた後のサポートを重ねていくことで、お客様との間に信頼を築いていることが分かりました。

それから、お客様からお預かりした車両が、陸運局で車検を受ける様子を見学もさせていただきました。そこでは、検査員の方々が、ブレーキの制動力やヘッドライトなどの様々な項目を、責任をもって検査されていました。自動車には、販売店の営業や整備士の方々だけでなく、陸運局の検査員の方々、さらには、自動車を生産している工場の方々など、数多くの人々が関わっていらっしゃいます。その多くの方の信頼関係によって、車が支えられていることを改めて知り、思わず胸が熱くなるのを感じました。

このインターンシップ実習で、私たちが安心安全に自動車を利用できるのには、販売店の方をはじめとした多くの方がお客様からの信頼に応えようと全力を尽くしていらっしゃることを学ばせていただきました。

最後になりましたが、株式会社スズキトラスト及びスズキアリーナ狭山富士見の皆様、日々の業務でお忙しいにも関わらず、懇切にご指導いただき、本当にありがとうございました。

川村 康太  
(経済経営学部)

【ホンダカーズ埼玉西 新狭山店】

ホンダカーズ埼玉西は、「地域社会の発展とともに成長し、安心、信頼の構築のもと、全てのお客様のカーライフをサポートする」を理念としています。新車販売、メンテナンス、部品販売、保険販売、レンタカーの貸し出しを行っています。

【実習期間：8月21日～23日】

### 信用と信頼の大切さ

私は、ホンダカーズ埼玉西新狭山店において、3日間のインターンシップ実習を行わせていただきました。店舗スタッフは店長、工場長、営業、サービス、CA（カーライフアドバイザー）に分かれており、私は、3日間、主にCAとして実習を行いました。CAの主な仕事内容は、お客様のお出迎え、お見送り、接客と事務作業です。そして、私はお客様対応を中心に実習を行いました。お出迎えの際には、まず駐車場まで行き、ご挨拶をしてお客様がどのような内容で来店されたのかを伺って店内に案内をします。その際、歩くスピードはお客様に合わせてみます。お客様が子供を連れて来店された際は、キッズコーナーの近くの席に案内することを教わりました。お飲み物はセルフサービスであることを伝えて、営業の方にお客様がご来店した目的をすばやく報告することなどを学びました。

私の中で特に印象に残ったのは、お客様との商談です。商談ではお話を聞くだけでしたが、大きな買い物なので、一つ一つの行動は常にお客様に見られているという意識で仕事をしなければなりません。だらしない姿を見られてしまったらお客様からの信用は失ってしまうからです。お客様からのご質問にはわかりやすく伝えて答えることが大切だと思いました。お客様対応では、お辞儀の仕方、言葉遣い、声のトーン、行動、姿勢、服装への意識など、たくさんのご指導いただきました。居酒屋のアルバイトより気にすることが多いですが、アルバイトから得た経験が役立つことがありました。

今回のインターンシップ実習では、多くのことを学べ、苦労したことも多くありました。報連相ができていなかったこと、社会人としてのマナー、ルールが守れていなかったことなど、たくさんご指摘いただきました。実習をするうちによくなっているという、うれしいお言葉をもらいました。また私はいろんなお客様とお話しすることができて、私が好きなスポーツカーのお話をお客様とすることができ、とても嬉しかったです。社会人としてのマナー、ルール、接客において大事なことをたくさん学ぶことができ、自分自身成長することができたと実感しております。

最後になりますが、実習を通して、接客の中で大切なことなど多くのことを学ばせてくださったホンダカーズ埼玉西さんには感謝の言葉しかありません。短い間でしたが、お忙しい中、ありがとうございました。

小海 心優  
(経済経営学部)

【ホンダカーズ埼玉西 新所沢店】

株式会社ホンダカーズ埼玉西は、新車、中古車の販売と点検整備、レンタカーの貸出などを扱う地域密着型自動車ディーラーです。「地域社会の発展とともに成長し、安心、信頼の構築のもとすべてのお客様のカーライフをサポートする」をモットーとしています。

【実習期間：8月21日～23日】

### お客様に寄り添うサービス

私は、ホンダカーズ埼玉西の新所沢店で、3日間のインターンシップ実習をさせていただきました。実習では、主に、お客様のお車の洗車、事務作業と接客業務をさせていただきました。

洗車業務では、お客様が見て、試乗されるお車では、拭き残しなどのないように注意し、お客様から預かったお車では、普段目につかないような場所にも気を遣って洗車することを心がけました。

事務作業では、車両点検の内容書類のチェックと新車をご購入されたお客様へお渡しするお車についての書類や納車証などの準備を行いました。どちらも、間接的ではありますが、お客様の手に直接届く書類です。たとえお客様の目には直接映らなくとも、妥協せず、一つ一つに思いやりを持って処理することによって、単なる事務作業であっても、お客様のことを思った大事な業務になるのだと感じました。

ホンダカーズ埼玉西において特に重要視されていると感じたのが、お客様第一ということでした。ホンダカーズ埼玉西の業務は新車販売や点検など、お客様の要望をすぐに反映できるものではないため、お客様を長くお待たせすることがほとんどです。そのため、ドリンクの提供を行ったり、お車の整備の進捗に応じて30分ごとにお客様への声掛けを行ったりするなど、お客様の負担が少なくなるような工夫がされていました。自動車ディーラーではありますが、長時間滞在を前提とした飲食店と似たような取り組みも多く見られ、お客様第一のためには、お客様がまた来たくなるような環境作りが、お車の販売や整備と同じくらい重要であるのだと考えました。

この実習で学んだことは、相手を思いやった行動とは何かだということです。今まで、営業とは自分で様々な場所で自社製品を売り込み、数字を増やしていくものだと思っていました。ですが、ホンダカーズ埼玉西では、そのような手法をとらず、買いたい人にその良さを伝えて、一人一人に対してその後のサポートをしていく形をとっていました。相手のことを考えると、買いたい人により良い選択をしてもらい、アフターサポートも充実させるといったように、お客様が何を求めているのかを知り、それを元に、さらにどのようにしたらさらに喜んでもらえるかを考えるということなのだとは私は考えました。

最後になりましたが、3日間ご指導いただいたホンダカーズ埼玉西の皆様、ありがとうございました。ここで学んだことを活かし、今後さらに成長できるように頑張ります。3日間ありがとうございました。

中川西 優紀  
(スポーツ科学部)

#### 【燦クリーン株式会社】

燦クリーン株式会社は、地球温暖化等の環境問題が生活に与える影響を軽減するため、負荷の少ない環境保全のための化学薬品の提供と、各種工事・清掃を通じてクリーンな生活環境を作ることで、持続可能な社会の実現に貢献している会社です。

【実習期間：8月6日～8日、12・13日】

#### 興味・関心を掘り下げていくことの面白さ

私は、燦クリーン株式会社で、5日間のインターンシップ実習を行わせていただきました。そして、このインターンシップ実習では、興味・関心を掘り下げていくことの面白さを学びました。

1日目に行ったのは、企業の株価を調べて分析することでした。それまで株価のことや経済のことへの関心が低く、知らないことばかりだったため、本格的な内容に驚きと不安の気持ちでした。実習を担当してくださった会社の会長は、株価の分析や経済のこと、政治のことだけでなく、日本各地や海外の産物などに関しても本当にいろいろとご存知で、自分の知らない話が次から次へと出てきました。そこで、その後、そのような状況に対応するべく、休憩時間や帰宅してからの時間に、知らなかったことをとにかく調べることにしました。そして、自分で調べても分からないことは、次の時に質問するようにしました。また、実習中にも、知らないことが出てきた時点ですぐに調べられる雰囲気を作っていました。また、他の実習生とも情報交換することができました。

実習では、地域に携わっている社会人の方々に講話していただく時間もありました。銀行や新聞社で働いている方、保険会社で働いていた方、市議会議員をされていた方など様々でした。初めて知ること聞ける貴重な時間になったと同時に、驚いたことがありました。それは、会長の交友関係の広さです。講師に来てくださったのは、会長が知り合って良い関係を築いてきた方々であり、会社と取引をしている企業や官公庁、学校の方々でした。これらの方々は、会長が会社を創業してから社長である息子さんと一緒に働く方々と共に、一から時間をかけて関係を育んできたのだそうです。

今回の実習で学んだこととして、興味・関心を掘り下げていくことと述べましたが、これは自分の知識や興味・関心を深めるだけではなく、関連することへと興味・関心を広げることにも繋がっていくのであり、面白さだと思いました。これまでの自分を振り返ってみると、少し興味を持ったとしても、そこからもう一歩踏み込んで、さらに詳しく知ろうとする姿勢があまりなかったように思います。今後は、少しでも気になったことを調べる姿勢をより大切に、さらに深掘りしていきたいと思います。そして、新たな知識や考え方を得るための方法の一つとして、人との関係づくりを大事にしたいと思います。

人として成長していくためのヒントを頂いたので、自分なりに考えて体現していきたいと思います。この実習は貴重な体験の場となりました。燦クリーンの皆さま、本当にありがとうございました。

山下 拓海  
(法学部)

**【飯能市役所 トーベ・ヤンソンあけぼのこどもの森公園】**

トーベ・ヤンソンあけぼのこどもの森公園は、ムーミンの世界を再現した公園です。遊具がないため、発想次第で様々な楽しみ方ができたり、イベントに参加できたりと、こどもの成長を支える場所となっています。

**【実習期間：8月27日～31日】**

**子どもを楽しませるための工夫**

トーベ・ヤンソンあけぼのこどもの森公園での5日間のインターンシップ実習では、水路清掃や薪割り、請求書の作成やイベント運営など様々な業務に携わらせていただき、市役所職員の多岐に渡る業務の一端を知る貴重な経験になりました。

そして、その実習の中では、特に「木の実でどうぶつをつくろう」と「さがしものゲーム」という2つのイベント運営に携わったことが印象に残っています。なぜなら、子どもたちを楽しんでもらう方法をイベント準備から終了までひたすら考え続けたからです。

「さがしものゲーム」は、園内にあるものの写真を見て、それがどこにあるのかを探し、写真を撮ると景品がゲットできるというものです。そこで、まず、当日探してもらうものを考え、その撮影を行いました。適当に写真を撮るのではなく、職員の方々のアドバイスを参考にしながら、より楽しいイベントとなるように工夫しました。そして、園内を広く巡ってもらうように探し物の場所を離し、公園の魅力が伝わるようにムーミンのキャラクターを取り入れるようにしました。このことから、イベントは工夫次第で園の魅力を伝える効果的な手段になると実感しました。

イベントは、2日間連続で、午前は「木の実でどうぶつをつくろう」、午後は「さがしものゲーム」が行われました。

1日目は、子どもたちと上手く接することができず、苦勞しました。そこで、職員の方から「子どもの目を見て話した方が良い」というアドバイスをいただきましたが、なかなかうまくいきませんでした。そして、午後は、多くの方にイベントに参加いただけるよう、声かけを行いました。

2日目は、前日の反省を踏まえてイベントに臨みました。しかし、それでも、午前中は、納得のいく成果を上げられませんでした。そこで、多く意見を聞いて、自分に合うものを見つけようと、職員の方にいろいろとアドバイスを求めました。そして、「子どもと接する時は低い目線で見上げるようにすること」と「子どもの意思を尊重し、無理に話そうとしない」という2つのアドバイスを取り入れたところ、午後のイベントでは、2人ほどではありますが、子どもを笑顔にし、ハイタッチすることもできました。このことから、人に意見を求め、取り入れる姿勢は社会人に求められる能力であると身をもって実感しました。

トーベ・ヤンソンあけぼのこどもの森公園での経験は、私にとって、貴重な機会になりました。ここで得た経験を、今後の生活でも活かしていきたいと思います。トーベ・ヤンソンあけぼのこどもの森公園の職員の皆様、5日間指導して下さいありがとうございました。

山村 祐輝  
(法学部)

#### 【飯能市役所 トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園】

あけぼの子どもの森公園は、飯能市が運営しており、無料で入れる施設となっていて、維持公園課が管理しています。飯能市の職員がトーベ・ヤンソン氏と手紙のやり取りを行って、1997年にできた施設です。

【実習期間：8月20日～8月24日】

### 人とのふれあい子どもの森公園

あけぼの子どもの森公園での実習では、水路の清掃、薪割り、本庁舎に書類を提出すること、イノシシやザリガニなどの生態系を崩す動物の罠を設置したり駆除したりすること、土日に行われるイベントの運営などを行いました。

あけぼの子どもの森公園に入ってまず気づくのは、建物や人工物が自然に溶け込むように工夫されている点です。園内にあるものでは、蜂が人を襲っているようなオブジェなどわざとおいで看板を見なくても危険と分かるようになっていたり、建築家の村山氏の意向によって、看板や掲示物を必要最低限にし、イベントの告知などは園に入っただと、開催場所の二つの看板しか立っておらず、自然に溶け込むようなこだわりが肌で感じられるようになっています。

印象に残ったことは、あけぼの子どもの森公園で土日に行われるイベント運営です。この際の景品はシールやスタンプで、職員の方が「子供たちはスタンプやシールなどの集めることが好きだから、景品はスタンプやシールにしているんだよ」とおっしゃっておいりました。「さがしものゲーム」と「木の実で動物を作ろう」のイベントを行い、「さがしものゲーム」では、子供たちの目につくところ、かつ簡単すぎない「さがしもの」を園内の3か所に作成するのはとても難しく、大人と子供では視点の高さも違ひますし、見えるところも変わってくるので、とても大変でした。それでも、そのかいあって、子供たちが作ったゲームを楽しそうにやってくれるのを見て、とてもうれしく思ひました。「木の実で動物を作ろう」のイベントでは、子供たちが怪我をしないようにし、グルーガンなどの危ないところは手伝ったり、アドバイスをしながら一緒に工作することで、より楽しいと思ってもらえるようにイベントを行っていることが、とても勉強になりました。

あけぼの子どもの森公園は、飯能市が運営する公共の施設で、それ自体とても意義のあるものです。しかし課題は、無料の施設となってるにもかかわらず、入園者が多くないことです。インスタグラムやX、FacebookなどのSNSを使用し、イベントの告知や園内の植物などを撮影し、投稿してはいますが、工夫が必要と感ひしました。

同じ市役所職員の業務でも、働く施設や行われる業務によっても違いがあり、やりがいはいそれぞれあると思ひます。今回の実習では、飯能の自然をどう生かすかというあけぼの子どもの森公園の役割を知ることができました。お時間を割いていただき、ありがとうございました。

長田 将耶  
(経済経営学部)

【飯能市役所 飯能市立博物館】

飯能市立博物館は、歴史展示室や「飯能と西川材」、「身近な自然」のコーナーで飯能市の歴史・文化・自然を紹介しています。また、特別展や企画展、講座・学習会、自然観察会も開催しています。

【実習期間：8月27日～29日、9月2・3日】

「正確性」と「伝える力」の大切さ

私は、飯能市立博物館で、5日間のインターンシップ実習をさせていただきました。実習では、主に、旧飯能市立図書館での文書整理や飯能市立博物館での目録作成に取り組みました。

文書整理では、年代ごとに分けられた段ボールを開けて、各書物のタイトルを撮影し記録する作業を繰り返し行いました。しかし、初日の段階では、作業を早く進めようとするあまり、撮影した写真のピントが合っていないものや文字が見えにくい写真が多くなってしまい、後日撮り直しをすることになり、目録作成に余計な時間がかかってしまうことになりました。そのため、迅速化の意識が逆に作業の効率を下げってしまったことを反省しました。

1日目の反省を踏まえ、3日目以降は撮影した写真をすぐに確認し、見えにくいものがあればすぐに撮り直すよう意識しました。また、確認作業をひとりで行うのではなく、もうひとりのインターン生にもチェックしてもらうことで、ふたりが納得できる写真を撮るよう心がけました。ここから、業務の精度を上げるためには確認作業を怠らないことが重要であることを実感しました。

また、目録作成でパソコンを使用する中で、タイピング速度やExcelの使い方に関して自分のスキル不足を感じました。そこで、これを改善するという目標ができました。

博物館での電子化の進展について、新たな発見がありました。大量の歴史的書物を保管するには物理的に限界があり、デジタル化を進めることで、保管スペースを削減し、業務の効率化を図ろうとしていることがよくわかりました。このように、物理的に価値のある歴史的書物のデータ化がどんどん進むことは、仕方ないことだとは思いますが、その一方で、少し寂しい気持ちにもなりました。

このインターンシップ実習を通して、私は、業務の精度を高めるための努力の重要性、そして、コミュニケーションの大切さを学びました。正確に作業を行えば、修正の手間を省くことができ、その結果、作業がよりスムーズに進みます。また、わからないことや確認が必要な場面でこそ、コミュニケーション力が重要になることを痛感しました。この学びを、今後の活動に活かせるよう、努力していきたいと感じています。

最後になりましたが、飯能市立博物館の皆様、お忙しい中、貴重なお時間を割いてご指導いただき、心より感謝申し上げます。

市川 大地

(メディア情報学部)

#### 【飯能市役所 飯能市立博物館】

飯能市立博物館は、「飯能と西川材」と「身近な自然」のコーナー、歴史展示室などを通じて、飯能市の歴史や自然、文化を紹介しています。また、特別展示や企画展示、学習会を実施し、地域の生涯学習に貢献しています。

【実習期間：8月27日～29日、9月2・3日】

### しっかり確認することの大切さ

私は、飯能市立博物館で、5日間のインターンシップ実習をさせていただきました。実習では、目録作成や照合作業、資産税課から届いた資料のカード作りをしました。

実習初日から3日目までは、目録作成を行いました。平成21年度の文書を写真に撮り、それを見ながら、Excelに文書のタイトルや保存期間、文書が保存されている箱番を記録していくというものでした。写真を撮影する中で、見えづらいものは個別に撮ったり、撮れていないものがないか確認したりしてはいました。しかし、Excelに記録する際に、ピンボケや光の反射で文字が読みにくいもの、ファイルの名前が鉛筆で書かれているなどして文字が薄くて読めないものを見つけることになり、自分の作業がどれだけ半端なものであるのか、痛感させられました。これは、撮影時にしっかりと確認していれば、防げたミスだったと思います。結果的に、写真を撮り直すことで、作業に余計な時間をかけることになってしまい、ご迷惑をおかけしました。

4日目は、平成28年度の文書の撮影と令和2年度、4年度の文書の照合作業を行いました。文書の撮影では、初日の反省を活かし、写真を撮り終わった直後に確認し、見えにくいものがあれば取り直し、それでも見えないものがあれば、メモをつけるようにしました。そのおかげで、すぐに入力できないということをなくすことができました。

そして、5日目には、資産税課の資料のカード作成を行いました。私たちよりも前にインターンシップ実習を行った人たちが終わらせることができなかつた分を終わらせるというものでした。全部で162枚あったのですが、私は130番以降のものを担当しました。もうこのころには、確認作業が自然とできるようになっており、私の担当分の中で記入するべきところがしっかりと埋まっているかを確認することはもちろんのこと、130番以前のものも確認して抜けているところを見つけ、しっかりと作業を完成させることができました。要領をつかみ、それとともに自信がついてきたのを感じることができました。

この実習では、確認することの大切さを学ぶことができました。特に目録の作成で、その重要性を、実感しました。一つでもミスがあれば、その後の作業に影響が出ることになり、業務を遅らせる原因となります。そうならないように、一つ一つの作業にミスがないかどうか確認することが大切なのだ気づき、それを意識して作業することができました。

インターンシップ実習を通し、多くのことを学ぶことができました。お忙しい中、実習を引き受けてくださり、貴重な体験をさせていただいた飯能市立博物館の皆様にご挨拶申し上げます。ありがとうございました。

近下 美奈  
(スポーツ科学部)

#### 【NPO 法人飯能市スポーツ協会】

NPO 法人飯能市スポーツ協会は、飯能市民の健康づくりとスポーツ振興を目的に活動にしています。様々な大会やイベントを開催する他、競技団体と連携して青少年育成や生涯スポーツ推進を行っています。

【実習期間：8月19日～30日】

#### 裏方の努力に学ぶ、地域への貢献

私は、飯能市スポーツ協会で、インターンシップ実習を行わせていただきました。

実習では、受付業務や外作業、グラウンド整備など幅広い作業を体験しました。最初は不安もありましたが、企業の方々の丁寧な指導のおかげで、多くを学ぶことができました。

受付業務では、地方の方への対応や電話対応を経験しました。そうする中、予約書類の日付を誤って印刷してしまい、確認不足を反省しました。しかし、最終日には、一度に多くの方が来られても落ち着いて対応でき、自分の成長を感じました。

外作業では、草むしりや回収、落ち葉掃除、木のツル取り、コーン設置などを行いました。草むしりは思った以上に大変でしたが、最後までやり切ることで達成感を得られました。ブロワーや大型ホチキスなど新しい器具の扱いも経験し、作業の難しさを実感しました。また、蜂が出た場所にコーンを設置し危険を知らせる作業では、利用者の安全を守ることの重要性を学びました。

グラウンド整備では、ライン引きや土をならす作業を体験しました。そこでは、サラサラな砂が使われていることを知りました。普段は、目にすることの少ない裏方の仕事を体験する中で、地道な努力や細やかな工夫の積み重ねが、利用者の安全や快適さを支えていることを強く実感するとともに、あまり人が気づかないようなところまで気を配ることの大切さを学ぶことができました。

また、企業の方が外作業に使う荷物を持ってくださった際、自分から声をかけられなかったことを反省しました。今後は、積極的に自分から行動できるようにしたいと思います。

最初は不安もありましたが、皆さんが優しく接してくださったおかげで、不安も和らぎ、最後まで前向きに取り組むことが出来ました。初めて触れる作業や器具に戸惑うこともありましたが、そのたびに丁寧に指導いただき、失敗から学び成長することが出来ました。温かい雰囲気の中で挑戦を重ねられたことは、私にとって大きな自信となりました。

短い期間でしたが、多くのことを学び取れ、このインターンシップ実習に参加できて本当に良かったと心から思います。このインターンシップ実習を通して、正確さ・丁寧さ・気遣い・積極性の大切さを学ぶことが出来ました。これらの経験は大学生活や就職活動に必ず活かせると感じています。今後は今回の学びを糧に、自分の力を高めていきたいと考えています。

このような貴重な学びの機会を与えてくださり、飯能市スポーツ協会ならびに関係企業のみなさまに、心より感謝申し上げます。

鈴木 琴哉  
(経済経営学部)

### 【飯能信用金庫】

飯能信用金庫は、「つながり続ける、挑み続ける、未来を彩る笑顔のために」をパーパスとし、地域の住民と中小企業の信頼できるパートナーとして、地域社会の発展に寄与し、豊かな未来を実現することを目指しています。

【実習期間：8月18日～22日】

### 飯能信用金庫さんで学んだこと、気づいたこと

私は、飯能信用金庫での5日間のインターンシップ実習に参加をしました。1～2日目は、マナー講座と職員の方々との座談会に臨み、3～4日目は、営業店で実際の業務を見学しました。最終日は、4日間で学んできたことを活かして、飯能信用金庫をPRするにはどうしたらいいのかをグループで検討し、5日間のインターンシップを終えました。

5日間のインターンシップを通して気づいたことが2つありました。

第一には、業務の処理速度と正確性の高さです。具体的には、口座のお金の取り扱い、書類の準備やローンの案内など、1つ1つの仕事が速く正確であることです。お金を扱う業務であるため当然のことではあるのですが、その精度に驚かされましたし、その重要性を改めて感じ取ることができました。また、ボタン1つで大金を振り込む場に立ち会った際には、その緊張感を肌で感じることもできました。さらに、営業時間が決まっている中で仕事の速さ、正確さを維持するためには、コミュニケーションが重要であり、とりわけ「報・連・相」を徹底することが必要であると教えていただきました。仕事の速さ、正確さ、コミュニケーションなどは、今からでもできることであり、心掛けていきたいと思えます。

第二には、顧客との心理的な距離の近さです。特に、営業に同行して、個人事業主を訪問し、チラシの配布や口座関連書類の受け渡しなどを経験しました。社長の方々とお話ししたり、営業担当の職員の方がプランや案内など紹介したりされ際には、自然に会話がなされており、とても活気のある雰囲気でした。そういった姿を見て、飯能信用金庫さんが地域に貢献している理由が明確に伝わってきました。

私は、5日間のインターンシップを通じて、会話を通じて関係性を築くことが得意だと自覚するようになりました。実習中、職員の方から話し方を評価していただく場面がありました。5日間で他大学のインターンシップ生や職員の方と話す機会が多かったので、「会話すること」が自然に身についてきたと感じます。

飯能信用金庫の皆さま、お忙しい中ご指導いただき、貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。

石川 達也  
(経済経営学部)

### 【飯能信用金庫】

飯能信用金庫は、預金・融資・為替といった金融サービスを提供するとともに、地域住民や中小企業への経営支援、地域活性化を目的とした社会貢献活動を行っています。

【実習期間：8月18日～22日】

### 私が学んだこと

私は、飯能信用金庫のインターンシップ実習に五日間参加し、研修所でのプログラムと飯能信用金庫山口支店での実地体験を通じて、地域金融機関の業務理解を深めました。

一日目は、研修所でのオリエンテーションで、グループごとに分かれて、自己紹介や事業概要の説明に臨みました。その後、現場職員の方々との座談会が行われ、日常業務やキャリア形成について具体的な知見を聞くことができました。

二日目の研修所での研修では、まず『日本経済新聞』を用いた情報収集法の指導を受け、関心のある見出しから要点を抽出して記憶定着を図る読み方を学びました。次の資産運用ケーススタディーの時間では、年齢・家族構成・資金ニーズ等に応じて提案商品が変化することを理解し、各商品の特性を把握しておく重要性を学びました。

三日目では、実際に支店に行き、営業部の方と一緒に法人のお客様訪問をするアフターフォローに同席しました。ここで特に大切だと感じたのは、世間話やお客様個人の話の時折することによってお客様からの信用を得ることです。また、この日は、最後に、他の支店の方達とオンラインでの勉強会に参加しました。

四日目は、支店の窓口業務を行いました。窓口業務を行っている方達を見て印象的だったのは、来店者お一人お一人と目線を合わせた丁寧な対応や、現金・書類の照合を複数名で徹底していることでした。

最終日には、研修所で、実際に、お客様の詳細な情報を見ながら条件や希望に沿った形のご提案を、グループで考えて発表しました。そこでは、今までの研修や実際に営業での現場経験を交えながらみんなが意見を出し合っていて、この五日間で成長できたなど改めて実感することができました。

最後にはなりましたが、五日間のインターンシップ実習を通して、社会人としてのマナーや、地域の一人一人のお客様、法人のお客様に対しての姿勢、向き合い方など、沢山の事を学ばせていただきました。今回学んだことを今後の人生の中で役立てていこうと思います。貴重な体験をありがとうございました。

三浦 旭登  
(経済経営学部)

### 【飯能信用金庫】

飯能信用金庫は、1926年に設立され、埼玉県飯能市に本店を置く、地域金融機関です。地域密着型の経営を掲げ、中小企業や個人向けの融資・預金業務を中心に、創業支援や事業承継などにも取り組んでいます。

【実習期間：8月18日～22日】

### お客様に寄り添う金融の現場から学んだ5日間

私は、飯能信用金庫で、5日間、インターンシップ実習を体験させていただきました。最初の二日間は研修所、三日目と四日目は営業店、五日目は研修所で実習しました。

研修所では、初日に、キャリアゲームに取り組み、学生時代の経験や将来像をグループで共有しました。そして、二日目に、日本経済新聞の読み方について学びました。すべてを通読しないこと、重要情報は記事冒頭に集約されていること、先を見通して読み進めることの三点を意識することで、対話の質が高まり信頼や共感を得やすくなると実感しました。さらに、窓口で資産運用相談を想定したケーススタディに取り組み、専門知識に基づき、相談者に合ったプランをわかりやすく説明する力と、信頼関係を築く姿勢の重要性を学びました。2日間のグループワークを通して、お客様に寄り添った提案をすると共に、想定外のことにでも対応できるような下準備の大切さを学ぶことができました。

三日目は、営業所で、内勤業務を見学しました。主に、窓口で業務をしている方々や融資部の方々がお客様にどのような対応を業務で行っているのかを間近で見させて頂きました。窓口での入出金では、字が書けない人にはタブレットで操作を行うなど、バリアフリーを考えた取り組みがなされていました。また、タブレットの利用は、顧客に一部データを入力していただくことにより、職員の業務効率化にもつながっていました。双方にメリットがあるやり方だなと感じました。

四日目は、営業訪問に同行させて頂きました。午前は、融資先企業を訪問し、資金の用途を現場で確認させていただきましたが、その資金が事業成長や地域経済に直結していることを実感し、資金提供の責任の重さを強く認識しました。午後は、個人のお客さま宅を訪問し、さりげない会話が強い信頼関係の礎になることを学びました。円滑なコミュニケーションの難しさと奥深さを感じ、相手に寄り添った言葉遣いと態度を今後も心がけたいと思いました。

五日目は、研修所に戻り、飯能信用金庫を現役層・ファミリー層に向けて、どのようにPRすべきかをテーマに、グループで話し合いを行いました。強みを持ち寄って一つの提案にまとめる過程を通じて、聞き手に一目で意図が伝わる構成の重要性に気付かされました。これは、今後の就職活動や社会人生活において必ず役立つと感じました。

飯能信用金庫の皆様、そして営業店での同行訪問にご協力いただいた取引先企業の皆様、この度は、インターンシップ実習の機会をいただき、誠にありがとうございました。

佐藤 尚久  
(スポーツ科学部)

#### 【Fun Space 株式会社 ノーラ名栗】

ノーラ名栗は、「わたしのちょうどいいを見つけるばしょ」をコンセプトに、心身共にリフレッシュできる場所を提供し、地方創生の観光拠点としての役割も担っています。

【実習期間：8月22日～25日】

### 学んだ効率と工夫の大切さ

私は、本学の地域インターンシップで、埼玉県飯能市にある「ノーラ名栗」にて、4日間のインターンシップ実習を行いました。

1日目は、施設の運営方針や共通指針についての説明を受けました。また、事前に準備していた質問に答えていただく中で、地域資源を活かした運営方針や、安全性と持続可能性を両立させる取り組みについて学びました。

2日目以降は、実際の現場に立ち、お客様への案内や準備・片付け・清掃といった業務を行いました。当初は屋外での作業が多いと考えていたため、体力面が中心になると思っていました。しかし、実際には、体力だけでは不十分であり、お客様の動きを観察して準備や片付けの優先度を調整する柔軟な判断力が求められました。また、効率的に動きつつも作業の質を落とさない工夫も必要で、頭を使いながら臨機応変に対応することの重要性を強く感じました。案内業務でも、同じ内容であってもお客様の理解度に合わせて説明の順序を変えたり、説明中にお客様の表情を細かく確認しながら説明したりすることを心掛けました。その結果、お客様に安心感を与え、理解が深まる案内につながったと実感しました。

実習中、私が意識したことは2点あります。

1つ目は、すでに触れましたが、効率的に動きながらも作業の質を落とさないように働き方を工夫することです。例えば、清掃の際には、「次に利用する方が快適に感じるか」という基準を持ち、単に汚れを取るだけでなく見栄えや「手を伸ばしやすい」という意味での使いやすさも意識しました。

2つ目は、何もしていない時間をできるだけ減らすことです。片付けが一段落した際にも、周囲を見回し、補充が必要な物品や次の作業を探るように心掛けました。その積み重ねによって、仕事全体の流れが円滑になることを体験的に学びました。

最終日には、業務の流れを理解したことで、以前より余裕を持って行動できるようになりました。自分が準備を重ねて行ったことがお客様の満足や笑顔につながることを実感し、接客業のやりがいを強く感じました。

今回のインターンシップ実習を通じ、私は効率と工夫の大切さを身をもって体験しました。体力だけではなく頭を使い、相手の立場を考えながら行動する力を養えたことは、今後の学びや将来に必ず役立つと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださり、丁寧にご指導いただいたノーラ名栗の皆さまに、心より感謝申し上げます。

奥田 悠眞  
(経済経営学部)

#### 【グランディール税理士法人】

グランディール税理士法人は、東松山市に拠点を置く、会計コンサルティングに特化した提案型の税理士事務所です。関連会社として、デザイン・コンサル会社である LTS が併設されています。

【実習期間：8月4・5日、8日、12・13日】

### 社会人と学生の違いを考える

私は、グランディール税理士法人で、5日間のインターンシップ実習を行いました。実習では、主に、関与先企業の取引内容を会計帳簿に記録する「記帳代行」を、TKC システムを使って行いました。また、新入職員用のオンデマンド研修や、月次巡回監査に同行し、業務の補助も行わせていただきました。

初日は、午前中、所長とのオリエンテーションの後、10年後の月次巡回がどうなるかのビデオを視聴し、午後から、TKC システムを使った記帳代行について教わりました。2日目には、新入職員研修ビデオによるオンデマンド研修を行い、税理士の業務や払うべき相当の注意義務を学び、加えて、TKC グループでは、巡回監査士という資格を持つ人がいて、中小企業を中心とした関与先を定期的に訪問(巡回)し、経理や帳簿の確認、指導などを行っていることを学びました。3日目には、会議と研修に参加させていただきました。会議では、関与先からの報酬の支払い状況や、今月の業績、今後の流れについての確認が行われましたが、学生生活では味わえない緊張感を感じる事が出来ました。4日目には、巡回監査に同行させていただきました。巡回監査の流れや、関与先との対話から信頼感の重要性を学びました。最終日には、今までの経験を踏まえて、記帳代行を行いました。

「今の若者だと思われぬようにしなさい」という初日のオリエンテーション時の所長からの言葉は、私に社会人と学生の違いについて真剣に考える機会を与えてくれました。巡回監査の時や、日々の業務をしている時に、私は関与先との会話を聞く機会がありました。所長や職員方の会話は、あるときは自ら話提供し、相手方から話を引き出したときには、相槌を忘れずにその話を広げ、話への興味を相手にもわかるように示していました。学生時代には、意識して相手をたてることは少ないように思います。ですが、社会に出れば、関わる相手の話が自分にとって興味のないことであっても、無視は出来ませんし、その人と信頼関係を築く上では必要なことです。この心構えこそ社会人と学生の違いの一つだと理解しました。また仕事は相手に合わせるものであることも強く感じました。

この実習では、税理士業界や巡回監査士について学ぶとともに、働くことがどういうことなのかを5日間の体験を通して考えさせられました。また、ここでの実習体験を今後活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、グランディール税理士法人の皆様、お忙しい中、5日間の実習をさせていただき、ありがとうございました。貴重な体験を積ませてもらったことに、心より感謝申し上げます。

森江 真有  
(メディア情報学部)

#### 【日高市役所】

日高市役所危機管理課は、防災、消防に関する業務を行っているチームと、交通政策、交通安全、防犯に関する業務などを行うチームに分かれており、市民の安全安心、移動の足の確保に取り組んでいます。

【実習期間：8月18日～22日、25日～29日】

### 市民生活を支える多様な仕事

私は、日高市危機管理課で、10日間のインターンシップ実習をさせていただきました。なるべく多くの経験を積んで欲しいというご配慮のもと、工事見学や市の会議参加など、幅広い業務を体験させていただきました。交通政策・交通安全・防犯担当でお世話になることが多かったのですが、防災・消防担当でも充実した実習をさせていただきました。

防災・消防担当では、消防司令センターの見学をさせていただいたり、防災訓練のための避難所展示品の展示説明作成をさせていただいたりしました。消防司令センターは、一般には立ち入ることのできない場所です。実際に通報を受けているモニターを見せていただいたのですが、高度な仕組みにとっても驚きました。また無線通信訓練という、公民館や水道課などにある防災無線の通信機能の確認や通信運用の習得のために行っている訓練に参加させていただきました。助けていただきながら無事にやり遂げることができた時は、緊張していたこともあり、嬉しかったです。このような訓練をされていることを知り、日頃からの備えの重要性を実感しました。

交通政策・交通安全・防犯担当では、チラシ作成や会議参加、児童の下校指導補助など毎日様々なことを体験させていただきました。令和6年4月からおでかけワゴン、おでかけタクシーという事業を始めた、交通戦略部会にも参加させていただきました。交通戦略部会でのお話を伺って、市の交通政策の重要性を実感するとともに、制度をうまく活用しないともったいないとも感じました。お出かけワゴンの乗車体験もさせていただきましたが、その際伺った、降車ボタンについて考えているという話が印象に残っています。また、見守り自販機の設置も見学させていただきましたが、その目的や仕組みを知ることができ、とても勉強になりました。

この10日間の実習を通じて、市役所の仕事は、市民に直接対応する業務だけではなく、防災・防犯・交通安全といった分野にまで幅広く及び、また、現場に出て市全体を整える役割を担っていることを学びました。実際に業務を体験させていただいたことで、市の見え方が大きく変わりました。この実習で得た学びを、今後も活かしていきたいです。

最後になりましたが、日高市役所危機管理課の皆様、お忙しい中10日間の実習をさせていただき、ありがとうございました。多くの貴重な経験をさせていただき、非常に充実したインターンシップになりました。心から感謝申し上げます。

山後 蒼一  
(経済経営学部)

#### 【有限会社ピーシーリンク】

ピーシーリンクは、埼玉県日高市にある IT 企業です。百貨店のポイントサービスの運用や金融機関のサービスなど、さまざまなサービスシステムを手掛けています。地域貢献にも積極的に取り組む、地域性のある IT 企業です。

【実習期間：8月25日～27日、9月1・2日】

### 地域インターンシップ報告書

私は、有限会社ピーシーリンクで、5日間のインターンシップ実習を行わせていただきました。実習では、IT 業界の仕組みと業務の流れを体系的に学び、簡単なプログラムの作成とテストまで一連の作業を体験しました。

初日の説明で、仕事はお客さまとの打ち合わせ→設計→作成→確認→納品という順に進むことを知りました。IT 業界というと自社でソフトウェア開発をするイメージが強いのですが、大手の企業になればなるほど顧客から要望を聞き取り、下請けの企業に仕事を振るといったような業務形態が多くなります。会社や担当によっては、パソコン作業よりも打ち合わせや連絡、予定の管理を主に行う人もいます。実際はプログラミングよりも顧客とのやり取りの方が重要だというお話も聴きました。特に、お客さまの要望を正しく聞き取り、優先順位やできること・できないことをはっきりさせる力が大切だと感じました。このことから、IT 業界はお客さまのニーズに答えて作成する、ものづくりの業界だということ学びました。

2日目と3日目には、プログラミングに挑戦しました。私は、プログラミングの経験がほとんどなかったので、最初は仕組みを理解するのに手間取ってしまいましたが、担当の方のアドバイスや資料などを参考にして、工夫することで、何とかできるようになりました。この2日間で一番学んだことは、要点をまとめるということです。質問するにしても、その前に、自分で試したこと、出たエラー、分からない点をメモにまとめてから質問するにすると、それに対する答えをより早く的確にもらえ、やり取りの回数も減ることが分かりました。ここで学んだ「整理して考え、簡単に試し、分かりやすく伝える」というやり方は、IT 以外の場面でも必ず役に立つと感じました。

この実習では、お客さまと一緒に働く人などのことを考えた工夫が必要だということも学ぶことができました。これも、IT 業界だけでなく社会人として活かせることなので、今後の就職活動にも活かしていきたいと思いました。

最後になりましたが、有限会社ピーシーリンクの職員の皆様、この度はインターンシップ実習の機会をいただき、誠にありがとうございました。

田村 眞輝

(メディア情報学部)

#### 【株式会社サンエー印刷】

株式会社サンエー印刷は、東京都北区に本社を置く印刷会社で、教育や金融、広告、販売促進などのサービスを取り扱っています。印刷物を企画から印刷、配送まで一貫して手掛け、長年の経験と最新技術で、お客様の多様なニーズに応えています。

【実習期間：8月25日～29日】

#### 良い商品やサービスを提供するために

私は、株式会社サンエー印刷にて、5日間のインターンシップ実習をさせていただきました。実習では、最初に、印刷業界や会社について説明していただきました。その後、グループ会社である株式会社サン・ブレーンや株式会社 Rit などでも実習を行わせていただき、工場見学や名刺作成、印刷するデータの作成を体験しました。そして、最後の二日間では、営業の担当の方に同行し、実際の営業現場も見学させていただきました。

1日目には、梱包作業で、印刷された商品の箱を組み立てる作業を体験しました。作業を行う前に、納品の期限と商品の個数を踏まえて、どのくらいのコストで仕事をこなすことができるか予測することが大事だと教わりました。実際に作業を行ってみると、やる人によっても一つにかかる時間が大きく変わってしまうので、それを予測して作業の時間を設定する難しさを体感しました。校正作業では、原稿を見比べて正しいものになるように添削するという作業を体験しました。何度も原稿を見比べて間違いがないか確認していたのですが、間違いを見逃している所がいくつもあり、校正作業の大変さと集中力が求められる仕事だと知ることができました。最後の二日間の営業同行では、取引先の会社に伺い、書類の受け渡しや商談の場に立ち合わせていただきました。お客様とのコミュニケーションの取り方やビジネスマナーなど社会で働く上で大事なことを実際に学ぶことができ、大変勉強になりました。

5日間の実習を通して、サンエー印刷は、丁寧な仕事を心がけ、良い品質の商品をお客様に提供する意識が強いと感じました。印刷物の作成工程では、印刷物の情報に間違いがないよう、数多くの確認作業がありました。営業同行では、校正された原稿や実際に印刷をする前の見本の確認など、ミスがないようお客様に直接確認をお願いしていました。また、商談では、納期から逆算して細かく予定を組み、ミスがないようお客様のニーズを再確認するコミュニケーションを取っていらっしゃいました。すべてが、非常に丁寧な仕事だと感じました。良いサービスを提供するためにはミスがないように確認をしっかりと行いお客様や仕事の関係者との綿密なコミュニケーションを行うということの重要性を学ぶことができました。

最後になりましたが、サンエー印刷の皆様、この度は、お忙しい中、5日間インターンシップ実習でご指導していただき、誠にありがとうございました。貴重な経験をさせていただき、心から感謝しております。この実習で学んだことを今後活かしていきたいと思っております。

長嶺 里沙

(メディア情報学部)

### 【株式会社サンエー印刷】

株式会社サンエー印刷は、様々な分野の印刷物に携わっており、印刷だけに留まらず、企画、物流までワンストップサービスで提供しているのが特徴です。さらに環境に優しい技術を導入することで、SDGsに取り組んでいます。

【実習期間：8月25日～29日】

### 丁寧に取り組む姿勢

私は、株式会社サンエー印刷で、5日間のインターンシップ実習に参加させていただきました。1日目は、自己紹介とグループ会社の説明と軽作業体験、2日目は、工場見学と軽作業体験、3日目は、本社での校正と名刺制作体験と工場での軽作業体験、4日目と5日目は、営業見学を行いました。

この5日間を通じて、印刷についてのさまざまな知識を学ぶことができました。

今まで私は、印刷会社は大量かつ同一内容の印刷物を取り扱うものというイメージを持っていました。しかし、オンデマンド印刷という種類の印刷方法では、ハガキの宛名や名刺など、個人ごとに異なる内容の印刷も可能であることを学びました。株式会社サンエー印刷では、その他にも、対応できる人数やデザインの幅も広く、多様なニーズに応えられる体制が整っていることを実感いたしました。

また、実際の業務を体験する中でも、多くの学びがありました。

軽作業体験では、梱包物の積み上げ、封筒へのテープ貼りなど、様々な作業を行いました。実際にお客様のもとに届けられる製品を扱うという責任感から、少しの破損も許されないという緊張感を持って作業に取り組みました。しかし、梱包物を持ち運ぶ際に疲れが出てきてしまい、置くときの慎重さが欠けてしまった場面もあり、商品の品質を第一に考えて行動することの大切さと難しさを実感しました。この経験から、たとえ単純に見える作業であっても、気を抜かず、丁寧に取り組むことの重要性を学びました。

営業見学では、担当の方が営業先のご担当者様と仕事の話だけでなく、雑談も交えて会話されている様子を見て、良好な関係を築くためには信頼関係が不可欠であり、その一つの手段として日常的な会話や雑談が役立つことを学びました。

この5日間を通して、私が最も多く耳にした言葉は「丁寧に」という言葉でした。軽作業体験を行う前には必ず「丁寧に作業してください」とご指導をいただきました。丁寧に行うことでミスが減り、結果的に作業効率が上がるという考え方を学びました。今後社会人として働く上でも、この「丁寧に取り組む姿勢」を大切にしていきたいと感じております。

最後に、株式会社サンエー印刷およびグループ会社の皆様には、5日間にわたり丁寧かつ親切にご指導いただき、誠にありがとうございました。

この貴重な経験を今後の学びや成長に活かしてまいります。

相田 将吾  
(スポーツ科学部)

【幼児活動研究株式会社 コスモスポーツクラブ】

幼児活動研究株式会社は、園児～小学生への体育指導の他、保育所・塾の運営、旅行企画等、子どもに関わる幅広い事業を行っており、幼児教育・幼児体育を通して未来を背負う子供たちの成長を育むお手伝いをしています。

【実習期間：8月5日、7・8日、21日、28日】

### 相手の目線に立つ大切さ

私は、幼児活動研究会・コスモスポーツクラブにおいて、5日間のインターンシップ実習をさせていただきました。コスモスポーツクラブでは、マット運動やなわとび、ボール運動など幅広い運動指導が行われています。私は、実習期間を通して、基本的に、午前中は園児に対するマット運動や鉄棒の指導への補助、午後は、小学生に対する運動指導への補助を行い、その他、子どもたちと一緒に運動に参加させてもらいました。なお、実習期間中の5日目を除く日程は夏休み期間であったため、課外事業である、「スポーツクラブ」に参加している子どもたちを対象とした指導を行いました。

実習初日は、私自身小さな子と話した経験が少なく、子どもたちとの距離を縮められるか不安でしたし、子ども達も初めて見る大人を目の前にして緊張している様子でした。しかし、活動が始まると、自然と子どもたちの方から話しかけてくれて、自分自身も子どもたちと目線を合わせることで話しかけやすい雰囲気を作るようにして、ある程度うまく子どもたちと接することができているように思っていました。しかし、途中で集中力が切れてしまう子どもへの声掛けがうまくできず、自分の力だけで活動に戻してあげることができませんでした。

2日目は、前日の反省点を踏まえて、声掛けの工夫を自分なりに考え、それを実行しました。集中力が切れてしまった子に対しては、「お兄さんにも見せてよ」や「やらないと鬼さんが食べに来ちゃうよ」など無理やりやらせるのではなく、子ども達自身の「やりたい」・「やらなきゃ」といった主体的な気持ちを誘発することが大切だと思いました。その結果、活動に再び戻ってくれる子が増えました。また、先生を観察する中で学んだことは、褒めることと叱ることのバランスが大切だということです。褒める時は、盛大に、その子をお手本としてみんなの前で褒め称え、叱る時は、原因や、改善策を子どもたち自身で考えさせるように声掛けをすることが大切だと感じました。3日目以降これらを意識して行ったことにより、4日目からは技術的なアドバイスも行えるようになりました。

この実習を通して相手の目線に立つことの大切さを学びました。これからの就活で、これを相手が求めていることを即座に理解する対応力や自分のことをよりよく伝える表現力に繋げていきたいと思います。

この5日間は、戸惑いを感じることはあったものの、多くのことを学びました。このような貴重な体験をさせていただいた幼児活動研究会 コスモスポーツクラブの皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。

高木 悠翔  
(スポーツ科学部)

【幼児活動研究会株式会社 コスモスポーツクラブ】

幼児活動研究会株式会社は、園児・小学生への体育指導や、保育所・塾の運営など、幅広い事業を展開し、幼児教育・幼児体育を通じて未来を背負う子供たちの可能性や成長を育む手助けを行っています。

【実習期間：8月5日、8日、26日、9月1日、5日】

### 声かけ1つで大きな違いに

私は、幼児活動研究会 コスモスポーツクラブにおいて、5日間のインターンシップ実習を行わせていただきました。コスモスポーツクラブでは、マット運動、鉄棒、プール等の体育を指導している他、合宿やドッチボール大会などの企画も行っています。私は、道具の準備と片付け、年少から小学生までの子供達の体育指導のサポートを主な内容として実習を行いました。

実習初日、私は園児や小学生と一緒に体を動かしました。普段から小年野球の指導を行っているため、子供達とすぐに打ち解けられる自信がありました。しかし、園児との距離の縮め方は予想以上に難しく、子どもたちに声をかけられても上手く返答できず、苦戦しました。小学生は女子が多かったため、野球指導のときとは同じようにいきませんでした。

2日目は、園児と小学生の体育指導のサポートを行いました。初日の実習の際に、先生から、「褒めてあげることが大事」とアドバイスを頂いたので、サポートしながら、1人1人に「上手!」、「凄いね!」などと声を掛けました。そうすることで子供達が声をかけてくれるようになり、とても距離が縮まりました。褒めることで、子供達が楽しそうに、自ら進んで運動をしてくれるようになり、それが、成長に繋がっていく姿を間近で見ることができました。褒めてあげることが、こんなにも大事なのかと、痛感しました。

3日目も、体育指導のサポートを行いました。2日目同様に積極的に声をかけていきました。この日は、初めに、かけっこを行いました。子供達は凄く楽しそうに運動してくれていたのですが、あまりにもテンションが上がりすぎて、指示を聞かなくなっていました。私は、「話聞かないとかけっこ終わっちゃうよ」と声を掛けましたが、効果はありませんでした。しかし、その中で先生が「話を聞いてくれたらずっとかけっこしようかな」と声をかけると、とたんに静かになり、指示に耳を傾け始めました。声のかけ方一つでここまで違うのかと、とても勉強になりました。

4日目からは、プール指導を行いました。5日目は、大雨の影響で休園になり、プールの解体作業のみを行いました。今までは園児や小学生の指導など賑やかな表の仕事だけを見るだけでしたが、裏ではこんなにも大変な作業をしているのかと、とても貴重な経験をすることができました。

この実習での体験は、私が将来スポーツ指導員を目指す上で、勉強になることばかりでした。幼児活動研究会株式会社の皆様、お忙しい中、貴重な体験をさせて頂く機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

磯山 達也  
(経済経営学部)

#### 【東久留米市役所 東久留米市立中央図書館】

東久留米市立図書館は、市民の読書活動や学習を支援する公共施設です。蔵書の貸出・閲覧のほか、調べ物相談や行事開催を通じて、地域との交流をしています。東久留米にある市立図書館のうち1番大きい図書館で、貯蔵数は約30万冊弱あります。

【実習期間：8月20日～25日】

### 図書館が持つ公共性

私は、東久留米市立中央図書館で、5日間のインターンシップ実習をさせていただきました。実習では、図書館の基本的な業務の他、展示設営などの学生主体となって行う業務も体験させていただきました。

1日目のオリエンテーションでは、館内案内や図書館とはどういう場所で、何をどういう目的で行っているか、図書館の仕組みと現状について説明をしていただきました。最初に図書館の仕組みと現状をお話していただいたことで、実習中、業務の理由や目的、注意点などを考えながら業務を行うことができ、より有益な実習とすることができました。

図書の配架では、「利用者がいるところでは、必ず利用者が優先」という原則が大事になります。利用者の方がいらっしゃる中での作業では、特にその配慮が重要になりますが、職員の方たちは、実際に、利用者優先ということを徹底していらっしゃいました。市立図書館が公共施設である以上、図書館を利用されるお客様優先というのは当然のことであり、あらためて公共サービスの基本的なあり方を再認識させられました。

また、図書館の職員の方ではなく、市の職員の方に、レファレンス作業を教えてくださいました。レファレンスは、利用者が求める資料の検索や提供、質問への回答を図書館員が行う業務です。それ故、まず利用者の方の要望を把握し、それに適した資料をいくつか提示することになります。しかしながら、図書館側がすべての答を提供するわけではなく、あくまでもアドバイスにとどめなければならないと説明いただきました。このレファレンス作業だけでも高度な職務を行っているのだなと感じました。

そして3日目には、実際に、レファレンス作業を、1チーム2人に分かれて行いました。データベースや百科事典を駆使し、お題にそった内容を引き当てるというものでしたが、まず何で調べるのか、どのデータベースを使うのかというところから考えなければならず、実際に体験してみて、難易度が高い作業だと改めて感じました。しかし、それでも、事前に受けていた説明のおかげで、自分が分かる範囲の言葉から芋づる式に情報を手繰り寄せることができ、与えられたお題を何とかクリアすることができました。

最後に、東久留米市立中央図書館の皆様、夏休みのとてもお忙しい時期に、時間を割いてご指導いただき、ありがとうございました。不慣れな私たちに、ひとつひとつ丁寧に教えていただいたことで、大変勉強になりました。心より感謝申し上げます。

野崎 美羽

(メディア情報学部)

#### 【東久留米市役所 東久留米市立中央図書館】

東久留米市立中央図書館は、市や周辺地域の歴史、文化、伝統、自然などの資料を記録・保存・発信し、次世代へ継承する取組を行うほか、おはなし会や利用者支援にも力を入れ利用者に寄り添った運営をしています。

【実習期間：8月20・21日、23日～25日】

### 利用者目線で考える図書館運営

私は、東久留米市立中央図書館で、5日間のインターンシップ実習をさせていただきました。実習を通して、利用者が使いやすいようにさまざまな工夫がされていることや、図書館業務の幅広さについて学ぶことができました。また、実際の業務や展示の準備、レファレンスの手順なども体験させていただき、大変貴重な経験となりました。

1日目は、オリエンテーション、展示の説明、配架・書架整理を行いました。2日目は、カウンター業務の見学や、地域資料についての説明を受けました。3日目には、ブッカーかけを体験しました。そして、最終日は、主に展示作業を行い、準備の仕上げをしました。

配架・書架整理の作業では、本棚の並びに工夫がされていることに驚きました。標準的なNDC（日本十進分類法）の順番ではなく、関連資料がすぐに見つけられるよう、利用者目線での配置になっていました。また、予約本受け取りブースの棚も、児童書は小さいお子さんでも手が届くよう下段になっているなど、細やかな配慮がなされており、非常に勉強になりました。

学生主体で行った展示では、「メディアミックス」をテーマに取り組みました。まず、実習生全員で意見を出し合って本を選定し、それぞれが選んだ本についてPOPを1枚ずつ作成しました。展示においては、その本が「いつ」「どのように」メディアミックス化されたのかがわかるように、年代や「映画化」、「アニメ化」などの情報を記した紙を添えました。また、返却時にどこに戻せばいいかわかりやすいように、本があったラックに本についてのメモを書いた紙を貼りました。最初は、年代ごとに本を並べ、上部にテーマを貼っていましたが、「テーマが上すぎて見づらい」、「全体がシンプルすぎる」といったご指摘をいただいたため、配置を見直し、テーマの紙を目立つ配色にし、レイアウトを変更しました。装飾についても、当初は派手になりすぎないようにと控えめにしていましたが、つけたいと思っていた飾りをすべて使用することにしました。最後までみんなと「どうしたら目に留まる展示になるか」などの意見を出し合い、試行錯誤しながら、展示を完成させました。その結果、より見栄えのする展示に仕上がりました。利用者の方が実際に展示を見てくださり、展示中の本を貸し出していらっしゃるのを見て、とても嬉しく感じました。そして、やりがいと、最後までやり遂げることの達成感を実感することができました。

この実習では、多くのことを学び、貴重な体験をさせていただきました。今後の学びや将来に、この経験をしっかり活かしていきたいと考えています。この度は、お忙しい中、5日間ものインターンシップ実習を受け入れてくださり、誠にありがとうございました。

森谷 佑海

(メディア情報学部)

#### 【東久留米市役所 東久留米市立中央図書館】

東久留米市立中央図書館は、東久留米市に設立された 4 つの公共図書館の中でも、本館に当たる施設です。1 階は図書館流通センター、2 階は市の職員の方によって運営されており、主に図書の貸出返却、レファレンス、データベースやインターネット閲覧端末の利用、自習室などといったサービスを提供しています。

【実習期間：8月20日～22日、24・25日】

#### 公共図書館で大切となる姿勢

私は、東久留米市立中央図書館で、5 日間のインターンシップ実習を行いました。実習では、主に、展示の作成や配架、書架整理、カウンター業務や地区館とのやり取りに関する業務などをさせていただきました。また、図書館についての基礎的なお話やレファレンス、地域資料やハンディキャップサービスなどに関するオリエンテーションと講義も受けさせていただきました。

実習を通じて特に大切だと感じたものが、主に 2 つあります。

まず 1 つ目は、コミュニケーション力です。これは、特にカウンター業務を行った際に強く体感しました。私は、業務の際、端のカウンターに座っていたためか、本のある場所や利用カードについてなど、利用者の方からの質問が多く寄せられました。実際に対応を行ったのはほとんど職員の方でしたが、横でお話を聞いているだけでもその難しさが伝わってきました。そして、職員の方の対応から、様々な年齢層の方が利用される公共図書館では、ひとりひとりに合わせた話の聞き方、そして、利用者の方が本当に求めていることを推察する力が重要だと感じました。これは、大学の図書館情報学の授業でも触れられていたことではありましたが、実際にその現場を目にしたことにより、利用者の方に合わせたコミュニケーションの重要性を、実感することができました。

2 つ目は、利用者目線に立つことです。この実習では、5 日間にわたって企画展示を準備することになり、他のメンバーと協力しながら「メディアミックス」というテーマで 1 つの展示コーナーを作成しました。最終日には、選書した図書や POP、装飾を一旦実際に配置してみた時点で、職員の方々に確認や評価をしていただきました。すると、利用者の方に見やすい配置や動線についてなど、改善理由を含めた具体的なアドバイスを丁寧に下さり、利用者の方に分かりやすく、見やすくすることの大切さを実感できました。それまで気づかなかつたり問題点を言語化できなかつたりしたのですが、新たな視点を得て、次々に改善案が湧いてきて、展示の完成に想定よりも時間がかかってしまいました。しかし、限られた時間内でメンバー全員が納得できる展示を作り上げることができました。そして、責任や達成感など、働く上で大切になることがらを、その一端ながらも学ぶことができました。

最後になりましたが、東久留米市立中央図書館の皆様、5 日間という実習期間の中、忙しい中にも関わらず、指導や講義だけでなく、質問などにも快くお答えして下さい、本当にありがとうございました。

小田切 彩音  
(メディア情報学部)

#### 【東久留米市役所 東久留米市立中央図書館】

東久留米市立中央図書館は、「市民と共に歩む図書館」を目指して、様々なサービスの提供、学校との連携を行っています。また、東久留米市の歴史を保存する役割を担うとともに、情報提供の場としても重要な役割を果たしています。

【実習期間：8月20・21日、23日～25日】

#### 人と本を繋げる場所

私は、東久留米市立中央図書館で、5日間のインターンシップ実習をさせていただきました。実習では、主に、展示設営、配架、書架整理、1便・2便と呼ばれる相互貸借の予約や貸出の作業、予約引き当て、ブッカーかけ、レファレンスサービス、地域資料、ハンディキャップサービスについてのワーク、見計らい並べをしました。また、2日目と4日目にはカウンターに入り返却の業務を体験させていただきました。

5日間を通して一番印象に残ったのは、展示設営です。テーマを決め、それに合った本を選定し、展示棚を作るという作業でした。実習生で話し合い、テーマを「メディア化された本」にしました。そして、その本が何年にメディア化されたのかが分かるように年代ごとに並べたり、本を紹介するポップを作ったりしました。図書館の業務は、貸出、返却、レファレンスくらいのイメージだったので、展示設営には、初めて知ることも多く、展示がどのように作られているのか、利用者に本を手にとってもらうためにはどうすれば良いのかなどを学ぶことができました。一応自分たちの納得がいくところまで展示を完成させ、職員の方にアドバイスをいただきました。アドバイスでは、テーマを目立たせる方向、動線を意識すること、装飾を増やすなど、多くの改善点を指摘していただきましたが、実際に作成することで初めて分かることができることばかりでした。現役の図書館員さんの意見をいただける機会はそう多くないので、とても貴重な経験でした。ほぼやり直しになりそうなほどでしたが、職員さんのアドバイスを元に話し合い、装飾を増やしたり、テーマを目立たせるために並び方を変えたりしました。5日間で展示を作り上げるのに計11時間かかりましたが、作り終わった時には達成感がありました。

展示を設置していない図書館はないと言っていいほど、展示はどここの図書館でもあると思います。展示は利用者と本の出会いのきっかけ作りのためにあると聞き、とても考えさせられました。

この展示設営は司書課程の授業では体験することができないとても貴重な機会になりました。そして、展示設営は図書館の役割である「提供」に繋がっていると考えました。図書館の業務は裏側の業務が多いため利用者との直接的なやりとりは少ないのですが、展示という「本と利用者を繋げる」という業務は図書館にとって重要な役割があると感じました。

東久留米市立中央図書館の皆様、お忙しい中、インターンシップ実習を受け入れてくださり、ありがとうございました。

小池 聡太  
(スポーツ科学部)

#### 【水上高原・奥利根温泉 ホテルサンバード】

ホテルサンバードは、みなかみ町と連携した体験をお客様に提供することで、お客様・従業員・地域の人々を明るくする「自然と笑顔に」を実践しているホテルです。そして、みなかみ町の魅力を、ホテルサンバードから発信し続けています。

【実習期間：8月16日～22日】

### 私たちの笑顔がお客様とみなかみ町の笑顔を引き起こす

私はホテルサンバードで7日間実習をさせていただきました。ホテルサンバードを希望した理由は、地域と連携した体験をお客様に提供し、お客様・従業員・地域の人々のすべてを笑顔にするという企業理念に感銘を受けたからです。また、実際にどのような取り組みが行われているか学びたいと考えました。

ホテルサンバードは、集客が多く見込めない平日には、教育団体の受け入れを行い、安定した収益を確保する工夫をしていました。また、団体のお客様を、ホテル単体ではなく、地域全体で受け入れる体制が整っており、それが地域の活性化につながっていました。このように、お客様を「みなかみ町」という「面」で受け入れるためには、地域との密接な連携が欠かせません。

特に印象に残っているのは、観光地「たくみの里」にある押し花工房の方々が教育団体向けに押し花体験を提供していたことです。ホテルと地域が一体となって作るこうしたプログラムは、お客様・従業員・地域の人々に笑顔をもたらしていると感じました。

実習内容は、マスのつかみ取りへの対応、トレーラー型宿泊施設アースボートの清掃、バーベキュー場の準備や片付け、流しそうめんの対応、みなかみ町観光、仲居業務、飯盒炊爨など、多岐にわたるものでした。

中でも、マスのつかみ取りは、一番私らしい接客をすることができました。私は3回担当しましたが、最初は担当の方の接客を真似して対応していました。しかし、うまく魚をつかむコツをお客様に伝えられず、苦戦しました。そこで、仲居の方がお客様に等身大の自分で接している姿をみて、私も、私らしさが出るような説明を心がけるようにしました。例えば、難しい説明をするのではなく、「端の網に集まっている魚を頭からゆっくりつかもう」といった、わかりやすく親しみのある言い方を意識しました。

この実習を通して、私は、お客様の笑顔を演出するためには、私自身が笑顔でいることが大切だと学びました。私が緊張してしまうと、お客様にも不安が伝わってしまいます。どんなときでもお客様と過ごす時間を楽しもうとする姿勢が、最高のサービスにつながると実感しました。ホテルサンバードはその笑顔の渦に地域の人々を巻き込み、「みなかみ町」全体に笑顔を届けている素晴らしい場所でした。

お忙しい中、実習を受け入れてくださったホテルサンバードの皆様、貴重な経験をさせていただきました。多くのことを学ばせていただきました。誠にありがとうございました。

安永 葉  
(スポーツ科学部)

#### 【水上高原・奥利根温泉 ホテルサンバード】

ホテルサンバードは、群馬県みなかみ町の豊かな自然に囲まれた高原リゾートホテルであり、冬はスキーやスノーボード、夏はキャンプや川遊びなど、多彩なアクティビティを提供しています。

【実習期間：8月16日～22日】

#### みなかみ町で出会った笑顔と学び

私は、ホテルサンバードで、7日間のインターンシップ実習をさせていただきました。

1日目から4日目は、キャンプ場とバーベキュー場の業務を行い、5日目にみなかみ町観光研修、6日目は仲居業務、最終日は小学生の団体の飯盒炊飯体験の手伝いを行いました。

キャンプ場とバーベキュー場の業務では、トレーラー型宿泊施設アースボートの清掃やサウナの火付け、マスのつかみ取り体験のサポート、バーベキュー準備・片付け、流しそうめん準備、星空観測、飯盒炊飯など多岐にわたる業務経験をしました。

仲居業務では、朝食や夕食の準備、配膳、案内などを行いました。そして、お客様一人ひとりに合わせた丁寧な対応や気配りが必要であることを強く感じました。

特に印象に残っていることは、みなかみ町で行われた観光研修です。ホテルサンバードの会社理念は「自然と笑顔に」であり、この理念には宿泊されるお客様だけでなく、地域で暮らす人々も含め、関わるすべての人に笑顔を届けたいという思いが込められています。その理念が、今回訪問した観光施設や地域のお店の雰囲気に強く表れていると感じました。

例えば、丸須製菓さんでは、店主の方がわざわざ窓から顔を出して丁寧に挨拶をしてくださり、地域ならではの温かさを実感することができました。また、たくみの里を訪れた際には、「ホテルサンバードから来ました」と自己紹介をしたところ、押し花の家の奥さんがとても明るい笑顔で迎えてくださり、心からのおもてなしを感じました。このような地域の人々との交流は、ホテルだけでは得られない体験であり、地域全体が一体となって観光客を受け入れていることを実感する場面となりました。

さらに、学校団体を受け入れる仕組みについて学んだことも大きな気づきでした。宿泊施設単独では大人数の学校団体に十分な満足を提供することは難しく、観光地や体験施設と協力し合うことによって、林間学校や移動教室といった教育旅行の受け入れが可能になることがわかりました。

今回の観光研修を通して、ホテル業務は単に宿泊を提供するだけではなく、地域の方々と協力しながら町全体でお客様を迎え入れるものであることを実感しました。そして、そこで生まれる笑顔が地域を豊かにし、観光地としての価値を高めることにつながるのだと深く理解することができました。

最後になりましたが、実習を受け入れてくださったホテルサンバードの皆様には、心より感謝申し上げます。

## 8. 地域インターンシップ報告会

本学の「地域インターンシップ」は、実社会での就業体験を通じて、「社会」を主体的に学ぶ場を学生に提供し、その職業意識を高め、就業力を伸ばし、地域社会で活躍する人材を育成しようとする、教育を主眼としたインターンシップです。2003年度から、埼玉県西部地区を中心とした地域の企業・団体のみなさまのご協力とご理解により、続けています（2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）。

「地域インターンシップ」は、お忙しい中実習を引き受け、学生たちをご指導くださる地域の皆様の協力があって初めて実施できるものです。これまで同様、前年度の3月に実習受入れのお願いをさせていただきました。すると、ありがたいことに、88の企業・団体の皆様にインターンシップ実習の受入を承諾していただき、200人程度の実習枠を確保することができました。この厳しい状況の中、実習を引き受けてくださる企業・団体がこれだけいらっしゃることに、ただただ感謝するとともに、実習生を送れませんでした企業・団体の皆様には申し訳なく思っています。

そして、「地域インターンシップ」は寄付講座として、資金や講師などで、駿河台大学同窓会からご支援をいただいています。「地域インターンシップ」は、学生を「地域インターンシップ社」の社員として扱うという形を念頭において授業を実施しております。そこで、同窓会の寄付講座ということもあり、新井克明同窓会長に社長役をお務めいただきました。

春学期に事前研修、夏休みにインターンシップ実習、秋学期に事後研修として報告書の提出と報告会を行っています。事前研修では、新井同窓会長のほか、本学の卒業生をお招きし、ご自身の経験に基づいて「働くこと」や「社会人の心構え」、「公務員の仕事」などについてお話しいただいたり、姿勢や笑顔の指導を行っていただいたりしました。さらにキャリアセンターの石橋英理先生にご協力いただき、マナー講座も実施しました。また、昨年度「地域インターンシップ」を履修した4年次生にもご協力いただき、話を伺いました。加えて、この事前研修の中では、各学部1名の教員により、挨拶の励行、迅速な行動、時間厳守（遅刻をしない）、報告の徹底など、さまざまな指導が行われます。

そして、夏休みには、インターンシップ実習が実施されました。2025年度は、28名（3年次生21名、2年次生7名）の学生が16の企業・団体において実習を行わせていただきました。事後研修として、インターンシップ実習を行った学生たちは、報告書の提出と報告会におけるプレゼンテーションを行います。報告の核となる実習報告書は担当教員の厳しい添削を受けます。また、報告会前には、本番さながらのリハーサルを行い、厳しい指導を受けます。

報告会は、10月9日（木）に開催されました。実習先の企業・団体のみなさまにも、大学にお出でいただく他に、Zoomを通じてオンラインでもご参加いただきました。ありがたいことに、11の企業・団体の方々にご参加いただきました。

報告会の開催にあたり、大森一宏学長、新井同窓会長にご挨拶いただきました。その上

で、3102、3103、3405 の三教室に分かれ、学生たちによる報告が行われました。学生たちは工夫をした中身の濃い発表を行ってくれました。そして、教室にお出でいただいたり、オンラインで参加されたりしている実習先の方々には、学生の報告の後に、コメントをいただきました。みなさま、極めて暖かく学生を評価するコメントを与えていただいた上に、実習した学生だけでなく、その教室の学生全員に感銘を与えるような話をしてくださいました。

報告会では、例年通り、各教室の報告者に対して、発表の相互評価を実施しました。自分以外の発表に対して、「メッセージ性」、「表現上の工夫」、「プレゼン力」を踏まえて、優秀な3組に1位から3位の総合評価を与えるというものです。そして、その評価を集計して、各教室上位二組に「優秀プレゼンテーション賞」を授与しました。結果は下記の通りです。

順位	3102 教室	3103 教室	3405 教室
第1位	東久留米市	飯能信用金庫	ホテル サンバード
第2位	入間市役所	サンエー印刷・ ホンダカーズ埼玉西	飯能市スポーツ協会

開催にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。実習を終えて秋学期の事後研修に現れた学生たち、そして、報告会で報告を行う学生たちの姿を見れば、地域の皆さまに温かく迎えられ、支えられ、教え導いていただいたことが分かりますし、学生たちの成長を目の当たりにすることができます。担当教員として、このような体験を持てることは、教員としての大いなる喜びであり、地域インターンシップの価値を実感させてくれるものです。そして、それは、地域の皆様、そして同窓会の皆様のご支援・ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

来年度は、より多くの学生が参加してくれることを願うとともに、より実りある「地域インターンシップ」としていくよう努力する所存です。これからもよろしくお願い申し上げます。

## 9. 企業・団体が求める人物像（社会人インタビューの実践）

「地域インターンシップ」では、埼玉県で実施された県内企業魅力発見事業「社会人インタビュー」を継承する形で、企業・団体が求める人物像を想定し、実習に取り組んでもらうことを考えています。実習先について調べる「実習先研究シート」に、「発展研究」として、「実習先が求める人物像」、「実習生から見た実習先の魅力」という二項目を追加したのもそのためです。社会人として働く上では、共通した社会人基礎力が求められますが、各企業や団体によって、特徴的な人物像が浮き彫りにされることも事実です。ここでは、その中から、就活を行う上で有益だと思われるものを紹介します。（ある程度、業種によってまとめています。）

入間市役所
<ul style="list-style-type: none"><li>・入間市を愛し、入間市のために働ける人</li><li>・積極的にチャレンジする人</li><li>・目標に向かって努力できる人</li></ul>

飯能市役所
<ul style="list-style-type: none"><li>・飯能愛がある人</li><li>・飯能市のことをもっと良くしたいと思っている人</li><li>・自ら学ぼうとする姿勢がある人、研究熱心な人</li><li>・自ら考えて行動し、気遣い、気配り、思いやりの心を持ち、飯能市に新しい風を吹かせてくれる人</li><li>・コミュニケーション能力が高い人</li><li>・素直に人の意見が聞ける人</li><li>・配慮、気配りができる人</li><li>・（困っている人などに）気がつくことができる人、気配りができる人</li><li>・環境の変化に対して柔軟に対応できる人</li></ul>

東久留米市役所
<ul style="list-style-type: none"><li>・仕事に興味を持ち学び続ける人</li><li>・日々知ることをやめずに、それが尽きないような人</li><li>・他社お意見に耳を傾け理解しようとする心構えがある人</li><li>・様々な意見に聞く耳を持ち、自分の考えと相違があってもひとまず聞いて理解しようとする人</li><li>・自らの考えをしっかりと伝えることができる人</li><li>・全て行うことは難しいが、難しいなりに頑張ろうとする人</li><li>・仕事に対し興味を持つ</li></ul>

日高市役所
<ul style="list-style-type: none"><li>・色々なことに興味を持てる人</li><li>・挑戦・チャレンジできる人</li><li>・一緒に仕事をしてみたいと思える人</li><li>・自分も相手から得られるものがある人</li></ul>

NOP 法人飯能市スポーツ協会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に行動でき、決断力ややる気を持ち、活発に取り組める人</li> <li>・スポーツ経験を通じて培った体力や協調性を活かし、社交性や説明力を備えた人</li> <li>・事務作業のみにとどまるのではなく、幅広い業務に主体的に関われる人</li> </ul>

幼児活動研究株式会社 コスモスポーツクラブ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の成長に寄り添える人</li> <li>・子供たちに寄り添うことができ、子供たちと積極的にコミュニケーションをとることができ、子供たちと信頼関係を築くことのできる人</li> <li>・子供が好きという気持ちや、体を動かすことが好き、仕事を通してお互いが成長できる・させたいと思える人</li> <li>・「これからの日本を担う子供たち」という視点を持ち、教育に誇りをもって取り組める人</li> <li>・子供たちの見本となれるような人</li> <li>・教育者としての責任感を持てる人</li> <li>・単なるスポーツ指導ではなく、人格形成に関わる意識を持つことができる人</li> <li>・明るく元気な挨拶ができる人</li> <li>・向上心があり、素直な人</li> <li>・感謝や親孝行の気持ちを持てる人</li> </ul>

飯能信用金庫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かのために頑張れる人、地域の人々のために貢献していける人</li> <li>・お客様のことを考えて発言や行動ができる人</li> <li>・自分自身の軸をしっかりと持っている人</li> <li>・できない理由ではなく、できる方法を考えられる人</li> <li>・当事者意識を持って行動できる人</li> <li>・目標に向かって頑張れる人</li> <li>・新しい情報を吸収し続け、自ら成長しようとする姿勢を持つ人・マニュアル通りではなく、状況に応じて臨機応変に考え、対応できる人</li> <li>・その人と仕事をしていて、楽しさ・やりがいを感じる・信頼できる人</li> <li>・仲間を尊重し、互いに支え合いながら成果を出せる人</li> </ul>

グランディール税理士法人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく爽やかに、大きな声で挨拶をする。呼ばれたら「ハイ」と元気な返事。</li> <li>・同僚、上司、お客様等、相手を理解し受け入れる。</li> <li>・指示を受けるときは、メモを取り復唱確認をする。曖昧なところは必ず質問をする。</li> <li>・取りかかりを素早くする。作業はテキパキと自ら進んで行う。行動に機敏さと積極性を持つ。</li> <li>・仕事は指示者への報告を持って完了する。長期の仕事時には、中間報告を行う。</li> <li>・反省のないところに進歩はない。自分でやり遂げる。人が見ていなくてもやる。</li> </ul>

燦クリーン株式会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境ビジネス業界や様々な分野に興味を持っている人</li> </ul>

株式会社 サンエー印刷
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を真面目に丁寧に聞き、誰とでもコミュニケーションが取れるような人</li> <li>・考える力や伝える力を持った人。</li> <li>・報・連・相がしっかりできる人</li> <li>・仕事一つ一つを丁寧に正確に行う人</li> <li>・自分の仕事に責任感を持ちながら仕事をし、失敗を恐れず積極的に向上心を持って取り組む人</li> <li>・ミスやアクシデントがあっても柔軟に誠実に対応できる人</li> <li>・課題に直面したとき一人で抱え込むのではなく周りに意見を聞ける人</li> </ul>

株式会社スズキトラスト
<ul style="list-style-type: none"> <li>・真面目で正直な人</li> <li>・向上心を持ち続ける人</li> <li>・気遣いができる人</li> </ul>

株式会社 ホンダカーズ埼玉西
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話すのが好きで社交的な人（お客様一人一人と接する時間が多い）</li> <li>・身なりがしっかりした人</li> <li>・様々な方から好感をもたれる人</li> </ul>

Fun Space 株式会社 ノーラ名栗
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い視野を持ち、迅速に能動的に行動できる人</li> <li>・取り組まなければいけないことに優先順位をつけ、作業を効率的にこなすために創意工夫ができる人。</li> </ul>

株式会社松商 奥利根温泉ホテルサンバード
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業理念である「自然と豊かに」のもと、みなかみ町の魅力を自身の体験をもとに発信し、ホテルサンバードからみなかみ町を PR し地域を活性化させ、地域の人々の笑顔を生み出せる人</li> <li>・みなかみ町の魅力を、自分があるのままだにお客様にお伝えできるような人</li> <li>・お客様を第一に考え、「自然と笑顔に」という企業理念を体現できる人</li> <li>・お客様の立場に立ち、思いやりをもって接することで、満足や安心を提供しようとする人</li> <li>・「どうすればもっと喜んでいただけるか」と工夫する人</li> <li>・仲間の意見を素直に受け入れ、状況に応じて柔軟に対応できる人</li> <li>・チームワークを大切に、周囲と協力しながら働ける人</li> <li>・未経験であっても学ぶ意欲を持ち、日々の経験を通して成長し続ける姿勢をもてる人</li> </ul>

有限会社ピーシーリンク
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分一人でやり遂げるのではなく、周りの人を信頼し助け合いながら仕事に取り組む人</li> <li>・助け合う過程で、相手を思った対応、配慮ができる人</li> </ul>

有限会社東亜冷熱
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気のある人</li> <li>・一生もののスキルを身に着けたい、仕事を通じて社会貢献したいと考える人</li> </ul>

## 10. 駿大社会人基礎力による効果測定

駿河台大学は、2013年度に、学生が在学中に身に付けるべきジェネリック・スキル（社会で活躍するために必要とされる汎用的な力）を「駿大社会人基礎力」として定めて、学生の就業力の向上に努めてきました。そして、2021年度には、それを再構成して、次の5つの能力、15の能力要素よりなる「駿大社会人基礎力 Ver.2」としました。

1. 基礎的な力：① 言語処理力、② 非言語処理力、③ 情報収集力
2. 考える力：④ 論理的・多面的思考力、⑤ 情報処理力、⑥ 構想力
3. 行動に移す力：⑦ 主体的行動力、⑧ 自己統制力、⑨ 自信育成力
4. 協働する力：⑩ コミュニケーション力、⑪ 統率力、⑫ チームワーク力
5. 総合的な力：⑬ 課題発見力、⑭ 計画力、⑮ 問題解決力

この社会人基礎力は、ルーブリックである「駿大社会人基礎力 (Ver.2) セルフチェック票」によって、「1. 基礎的な力」と「2. 考える力」は5段階に、「3. 行動に移す力」、「4. 協働する力」、「5. 総合的な力」は7段階に自己採点できるようになっています。

2025年度の「地域インターンシップ」の履修者数は、極めて残念ながら、2022年度の86人（2年次生21人）から大きく減少した2023年度の36人（2年次生11人）、2024年度の31人（2年次生4人）を下回る28人（2年次生7人）となってしまいました。ただし、2年次生の占める割合は、25.0%と、2024年度の12.9%から改善しました。

この履修者に対し、「駿大社会人基礎力 Ver.2」を用いて、事前研修開始時（授業開始後、履修者が確定した4月末）と、事後研修終了時（10月報告会）においてルーブリックを用いて調査を行いました。しかし、今年度は、もともと履修者数が少なかつた上に、調査への回答数が4月：n=28、10月：n=22と極めて少なく（2024年度は、4月：n=23、10月：n=14；2023年度は、4月：n=30、10月：n=21）、ここで示される結果は不十分なサンプル数に基づくものであることをあらかじめお断りしておきます。また、サンプル数の違いがあるので、ここでは、平均値により分析をおこないます。

また、「地域インターンシップ」への参加者は元々積極的な学生であり、初めから自己評価が高い傾向にある上に、調査に回答した学生は、その中でも真面目で意欲の高い学生であったと考えられます。そのため、高い数値が出やすい状況での調査結果であることもあらかじめお断りしておきます。

2025年度と2024年度、2023年度の5つの能力に関する結果は次の通りです。

	2025		2024		2023	
	1	2	1	2	1	2
開始時(A)	2.56	2.57	2.78	2.80	2.87	2.98
終了時(B)	3.29	3.24	2.95	3.14	3.70	3.63
B-A(5点)	0.73	0.64	0.17	0.35	0.83	0.66
(7点換算)	1.02	0.94	0.24	0.48	1.16	0.92

	2025			2024			2023		
	3	4	5	3	4	5	3	4	5
開始時(A)	3.29	3.04	3.06	3.54	3.67	3.30	3.37	3.32	3.30
終了時(B)	4.39	4.35	4.32	4.29	4.57	3.93	4.83	4.86	4.76
B-A	1.17	1.31	1.26	0.75	0.90	0.62	1.46	1.53	1.46

2025年度の能力の伸びは、最高の「4. 協働する力」が1.31で、最低の「2. 考える力」でも0.94と、極めて高い伸びを見せた2023年度は下回っているものの、高い伸びを示しました。ただし、これは、開始時の自己評価が2025年度はかなり低かつたためであり、終了時の自己評価は、2023年には全く及ばず、2024年度を全体として少し上回る程度に留ま

っています。

それでも、通常の授業ではなかなか伸ばすことが難しい能力である「3. 行動に移す力」、「4. 協働する力」、「5. 総合的な力」に関して、2025年度は、すべて1ポイントを超える伸びを見せ、最終評価も4.39、4.35、4.32とすべて4ポイントを超えています。これは、2025年度も、地域インターンシップの目指す効果をきちんと与えることができたと考えていいでしょう。

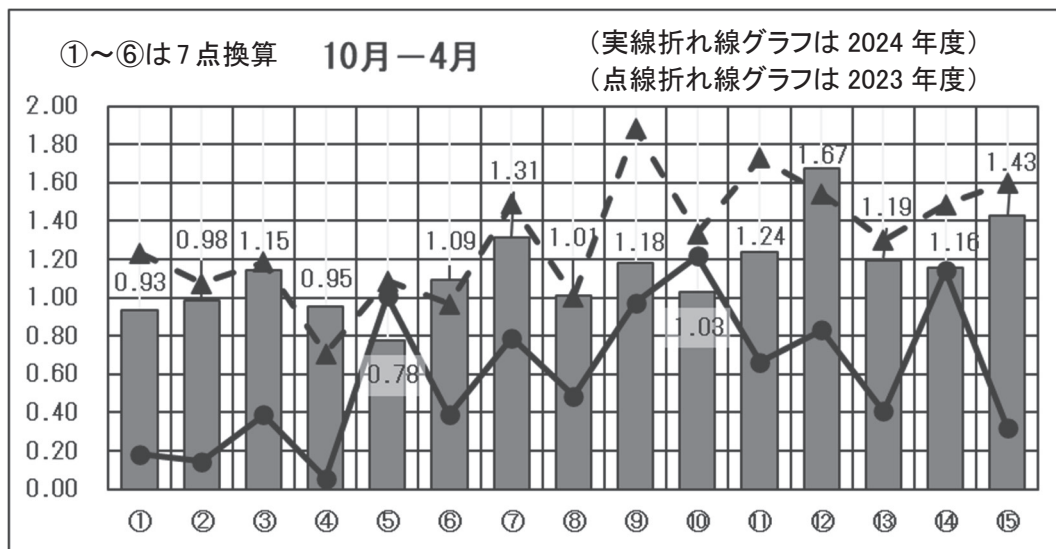
また、必ずしも地域インターンシップの目標ではないとはいえ、「1. 基礎的な力」と「2. 考える力」も、1.02、0.94と1ポイント前後の伸びを与えることができたようで、2024年度からの改善には成功したと考えていいでしょう。

さて、より細かく15の能力要素を見ていきましょう。①～⑥の中央値は3で、⑦から⑮の中央値は4となります。

能力	1. 基礎的な力			2. 考える力		
能力要素	①	②	③	④	⑤	⑥
開始時 (A)	2.61	2.57	2.50	2.82	2.54	2.36
終了時 (B)	3.27	3.27	3.32	3.50	3.09	3.14
B-A(5点)	0.67	0.70	0.82	0.68	0.56	0.78
(7点換算)	0.93	0.98	1.15	0.95	0.78	1.09

①言語処理力、②非言語処理力、  
③情報収集力  
④論理的・多面的思考力、  
⑤情報処理力、⑥ 構想力  
⑦主体的行動力、⑧自己統制力、  
⑨自信育成力  
⑩コミュニケーション力、  
⑪統率力、⑫ チームワーク力  
⑬課題発見力、⑭計画力、  
⑮問題解決力

能力	3. 行動に移す力			4. 協働する力			5. 総合的な力		
能力要素	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
開始時 (A)	3.32	3.54	2.82	3.43	2.71	2.96	3.21	3.07	2.89
終了時 (B)	4.64	4.55	4.00	4.45	3.95	4.64	4.41	4.23	4.32
B-A	1.31	1.01	1.18	1.03	1.24	1.67	1.19	1.16	1.43



2025年度は、終了時において、能力要素「⑪統率力」で、中央値を若干下回りましたが、他はすべて中央値を上回っています。6つの能力要素で中央値を下回った2024年度と比較すれば、2025年度の「地域インターンシップ」は一定の成果を得たと言えるでしょう。

「1. 基礎的な力 (①～③)」と「2. 考える力 (④～⑥)」でも、2024年度とは異なり、2025年度は1ポイント前後の伸びが見られます。しかし、就活等でも重要になる「⑤情報処理力」だけは、0.78とあまり伸びが見られませんでした。2025年度の反省点です。

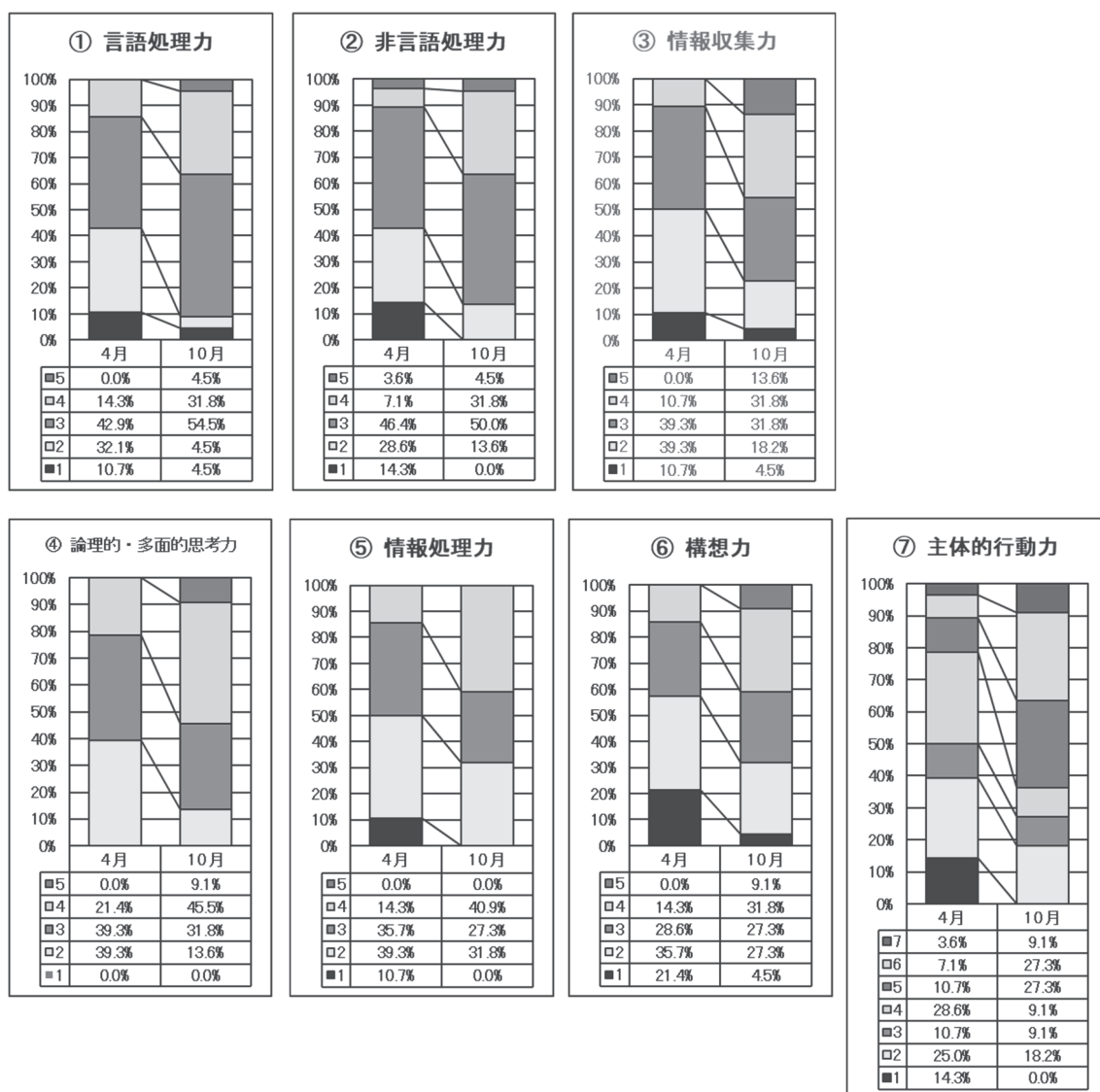
また、「3. 行動に移す力」では、「⑦主体的行動力」と「⑧自己統制力」が終了時で4.64、4.55となり、特に「⑦主体的行動力」は1.31と高い伸びを見せています。「⑨自信育成力」は、終了時で4.00と中央値に留まっていますが、伸びは、2023年度の1.88には遠く及ばないとはいえ、1.18と十分な伸びを見せています。

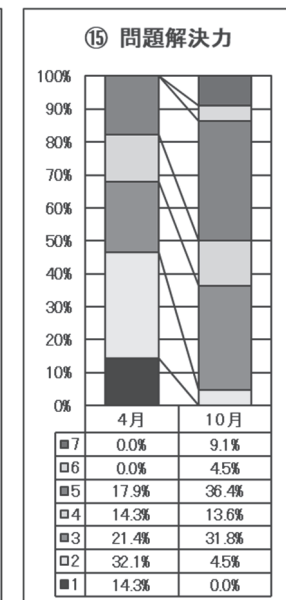
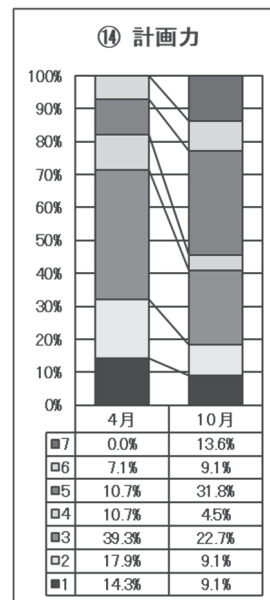
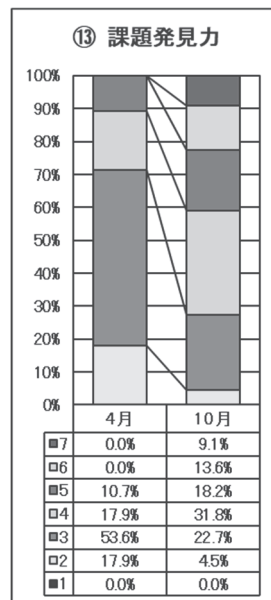
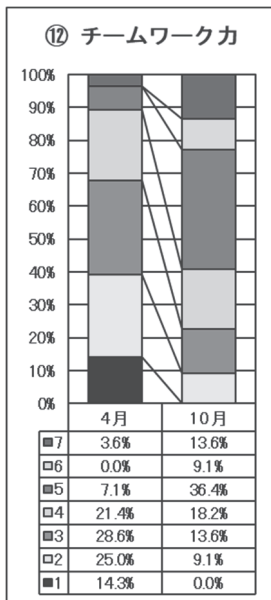
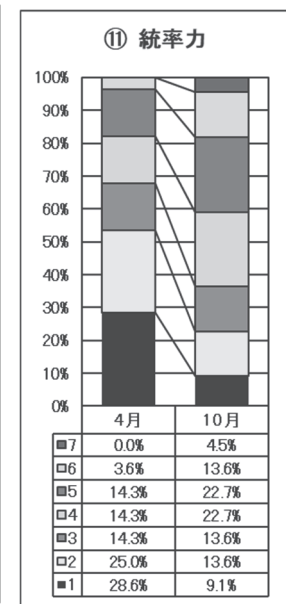
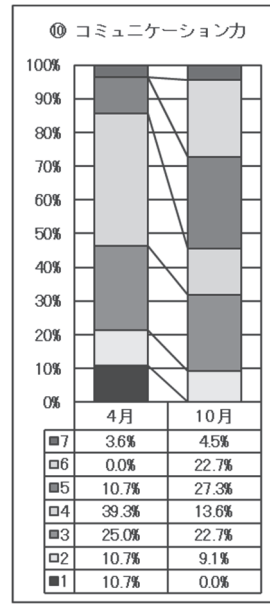
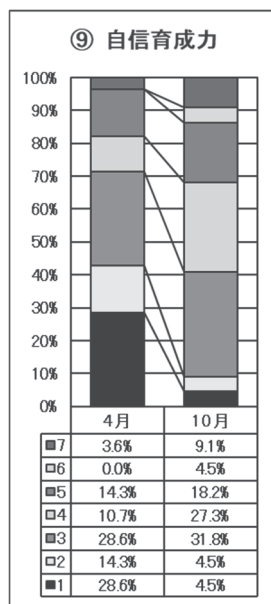
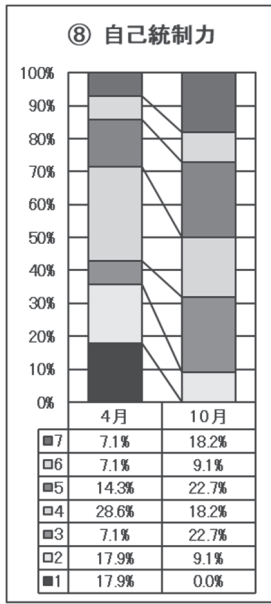
「4. 協働する力」も、「⑩コミュニケーション力」と「⑫チームワーク力」が終了時で4.45、4.64となっており、特に「⑫チームワーク力」は1.67と2023年度を上回る伸びを見せています。ただし、「⑪統率力」は、1.24という伸びを見せながらも、終了時に3.95と中央値を下回っており、残念な結果でした。

「5. 総合的な力」に関しては、「⑬問題解決力」が、喜ばしいことに、1.43という高い伸びを見せています。また、「⑬課題発見力」、「⑭計画力」、「⑮問題解決力」すべてが終了時に4.2ポイントを超え、伸びも1ポイントを上回っています。

2025年度は、「⑤情報処理力」を除き、能力要素全体で大きな伸びを得ることができました。また、終了時のスコアも、「⑪統率力」を除き、中央値を上回ることができました。2025年度の「地域インターンシップ」は十分な成果を得たと言えるでしょう。

各能力要素の自己評価の分布は次のようになります。上の方が高いポイントとなります。





2025年度の「地域インターンシップ」という授業の成果は、実習受け入れ先企業・団体様の温かいご指導により、一定の成果を得ることができました。ここに、実習受け入れ先企業・団体様に、改めて感謝申し上げるとともに、2026年度は、さらなる授業内容の改善とともに、履修学生数の確保に努めていきたいと考えます。

## — 駿河台大学憲章 —

# ひとりひとりと

ひとりひとりの歩幅はちがう。  
ときに並んで歩き、ときに手を引く。  
我々は学生に対し愛情をそそぎ、  
真の教育を実践する。

駿河台大学の建学の精神である「愛情教育」は、「学生一人ひとりに対する愛情がなければ、真の教育はできない」という信念を表現したもので、本学の教育に脈々と継承されています。

我々はこの建学の精神を確認し、教職員一体となって、さらなる大学の発展をめざすことを決意して、駿河台大学憲章を定めます。

### 私たちのめざす教育

- ひとりひとりの多様な個性と夢を尊重し、真摯に向き合い、ともに学ぶ教育環境を創ります。
- 変化の著しい社会において、自立的かつ主体的に生きることのできるひとを育みます。
- 常にグローバルな視野に立って、地域社会の未来を担えるひとを送り出します。

### 私たちのめざす研究

- 学問の進歩に貢献する質の高い研究を行い、その成果を教育及び社会に積極的に還元します。
- 総合大学として学際的な研究を充実させ、人類の進歩と平和に貢献する研究を行います。
- 地域の課題解決に資する研究を通じて、地域社会の発展に寄与します。

### 私たちのめざす地域との協働

- 地域に根ざした大学として、豊かな自然・文化に育まれた「地域の教育力」を尊重します。
- 地域社会と協力しながら、まちづくり・ひとづくり・ものづくりに積極的に取り組み、地域社会の活性化に努めます。
- 地域の「知の核」として、社会人の再学習や生涯学習の機会を提供し、地域社会の発展に貢献します。

駿河台大学は、これらの使命を果たすために、恒常的な自己点検評価を行うとともに、第三者からの評価等を真摯に受け止めて不断の改善に努め、健全かつ安定した大学運営をめざします。

[ 2012年12月制定 ]

[ 2017年10月改定 ]

[ 2025年11月改定 ]



地域インターンシップ'25

2026年3月 発行

発行：駿河台大学地域連携課

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須 698

TEL. : 042-972-1181

FAX. : 042-972-7767